

# 消防年報

平成22年



美唄市消防本部

# 美 唄 市 民 憲 章

(昭和45年7月10日制定)

わたくしたちは たくましい開拓者精神をうけつぐ

美唄市民です

- 1 心もからだもすこやかに 教養を深めましょう
- 1 仕事に誇りをもち 明るい家庭を育てましょう
- 1 きまりを守り 思いやりのある社会をつくりましょう
- 1 自然を愛し 清潔で美しいまちをきずきましょう
- 1 若い力を育て 平和で豊かなまちにしましょう

## は し が き

この年報は、平成22年中における当市の消防現勢及び消防行政執行状況並びに火災、救急統計を集録したもので、今後の消防行政推進の参考にするとともに、当市の消防事情を紹介するために編集したものです。

この年報が消防の執務上の資料となり、加えて地域住民の防火に対する指針の参考となれば幸いです。

この年報は、特記したものを除き、平成22年12月31日現在で作成したものです。

平成23年3月

美唄市消防本部

# 目 次

あゆみ	
美唄市消防の沿革	1 ~ 7
歴代消防長	8
歴代消防署長	9
歴代組頭・団長	10
美唄市名誉消防団員	11
叙勲者名簿	12 ~ 14
総務関係	
管内略図	15
1 美唄市勢概況	
(1) 位置及び面積	16
(2) 消防吏員・消防団員・消防機械の人口及び世帯割合	16
(3) 一般会計と消防予算の比較	16
2 消防機構	
(1) 消防機構図	17
(2) 消防本部・消防署組織及び配置	
ア 消防職員の定員と実員	17
イ 消防本部職員配置状況	18
ウ 消防署職員配置状況	18
エ 分遣所職員配置状況	18
オ 消防職員階級別勤続年数調	19
カ 消防職員階級別年齢調	19
キ 消防職員資格取得状況	19
(3) 消防団組織	
ア 消防団員の定員と実員	20
イ 消防団員配置状況	20
ウ 消防団員階級別勤続年数調	21
エ 消防団員階級別年齢調	21
オ 消防団員災害延出動人員調	22
3 消防施設	
消防用建造物一覧表	23

## 警防関係

### 1 消防装備

( 1 ) 消防自動車配置表	24
( 2 ) 小型動力ポンプ積載車配置表	25
( 3 ) 小型動力ポンプ配置表	25
( 4 ) 消防水利の現有状況	26

### 2 救助活動

( 1 ) 救助出場件数及び活動件数	27
( 2 ) 主な救助活動状況	27

## 救急関係

### 1 救急統計

( 1 ) 応急手当普及啓発活動状況	28
( 2 ) 月別出場状況	28
( 3 ) 曜日別出場状況	29
( 4 ) 覚知別出場状況	29
( 5 ) 救急出場の時間別件数調	30
( 6 ) 年齢区分別搬送人員状況	31
( 7 ) 傷病程度別搬送人員状況	31
( 8 ) 過去10年間の出場状況	32

### 2 消防通信施設

( 1 ) 消防緊急通信指令施設	
ア システム構成図	33
イ 機器構成	33
( 2 ) 消防無線の概要	34

### 3 緊急通報装置

( 1 ) 一般住宅用緊急通報装置受信状況	36
( 2 ) シルバーハウジング緊急通報装置受信状況	36
( 3 ) 緊急通報装置受信内容状況	36
( 4 ) 地区別設置状況	36

### 4 気象記録

	予防関係	
1	予防統計	
(1)	指定防火対象物状況	38
(2)	建築同意処理状況	
ア	工事別同意状況	39
イ	用途別同意状況	39
(3)	中高層建築物の状況(4階以上)	40
(4)	広報・広聴実施状況	40
(5)	予防活動状況	40
(6)	消防法・火災予防条例届出等の処理状況	41
(7)	防火団体設立状況	
ア	危険物安全協会	41
イ	幼年消防クラブ	41
ウ	婦人防火クラブ	41
2	危険物統計	
(1)	危険物施設状況	42
(2)	危険物申請等処理状況	43
(3)	危険物製造所等倍数別設置状況	44
3	火災概要	
(1)	火災発生状況	45
(2)	管轄別火災状況	46
(3)	月別火災状況	47
(4)	出火原因別火災状況	47
(5)	出火時刻別火災状況	48
(6)	過去5年間の火災状況	49
(7)	過去5年間の火災原因別分	49
(8)	過去5年間の月別発生状況	50
(9)	過去5年間の時刻別発生状況	50
(10)	過去5年間の曜日別発生状況	50
(11)	消防本部発足以来の火災件数の経過	51～53
(12)	昭和45年以降の主な火災	54

# あゆみ



昭和30年代の訓練風景

# 美 唄 市 消 防 の 沿 革

## 明治

- 36年8月 私設沼貝消防組設立 初代組頭 鈴木武四郎  
乙号型腕用ポンプ 1台
- 37.10 私設沼貝消防組が公立沼貝消防組に改組 組員36名
- 40.5 美唄市街地大火(22棟20戸焼失)

## 大正

- 5.5 私立美唄炭山消防組結成 組員30名 腕用ポンプ1台
- 6.7 私立美唄炭山消防組を公立我路消防組に改称  
沼貝消防組に部制を設ける。  
第1部 沼貝市街地  
第2部 峰延市街地 部員28名
- 9.12 沼貝消防組第3部発足  
第3部 茶志内市街地 部員13名 7号腕用ポンプ1台
- 11.3 沼貝消防組第4部発足  
第4部 沼貝市街地 部員26名 腕用ポンプ1台
- 15.6 沼貝町が美唄町と改称される。(6,141世帯・32,240人)  
沼貝消防組を美唄消防組に改称

## 昭和

- 2.9 美唄消防組第2部が独立し峰延消防組設立 組員25名  
美唄消防組第4部を第2部に改称  
美唄消防組第4部発足  
第4部 美唄市街地 部員25名 腕用ポンプ1台
- 4.5 我路市街地大火 焼失204戸
- 6.12 我路市街地大火 焼失76戸
- 9.6 美唄消防組第5部発足  
第5部 美唄市街地 部員25名 腕用ポンプ1台
- 9.9 美唄消防組本部庁舎新築(現大通西1条南1丁目)に木造2階建  
美唄消防組第5代組頭 故海老名広吉氏の遺志により庁舎横に火の見鉄骨  
望楼81尺(24.5m)1基建造
- 11.5 消防ポンプ自動車1台購入 美唄消防組に配備
- 12.5 美唄市街地大火 焼失372戸、損害額180万円、罹災者1,900名

- 13 . 4 消防団常備 2 名配備
- 13 . 10 美唄市街地の大火で美唄消防組本部庁舎焼失したため、同敷地に同本部庁舎新築木造モルタル 2 階建 延 365㎡
- 14 . 4 警防団令(勅令)施行 美唄消防組を美唄警防団に再編成  
1 本部 15 分団 927 名  
炭鉱地区に三井美唄警防団・三菱美唄警防団が同時に発足
- 18 . 4 美唄警防団 15 分団を統廃合し 11 分団に再編成
- 19 . 4 消防団常備 7 名増員(計 9 名) 第 2 分団に 4 名配備
- 22 . 4 消防団令(勅令)施行 各警防団を消防団に改称
- 22 . 8 美唄消防団 6 分団 4 部制に再編成 団員 299 名  
我路消防団発足 団員 75 名
- 22 . 12 消防組織法(法律第 226 号)公布 消防組織は自治体消防として独立する。
- 23 . 4 望楼監視勤務開始
- 23 . 7 消防法(法律第 186 号)公布
- 23 . 10 水槽付消防ポンプ自動車購入 美唄消防団に配備
- 24 . 2 美唄・南美唄・峰延・光珠内・茶志内・沼南・三井美唄・三菱美唄・三井新美唄・日東三菱茶志内・我路の 11 団編成となる。 団員 1,024 名
- |      |             |       |
|------|-------------|-------|
| 消防装備 | 消防ポンプ自動車    | 11 台  |
|      | 水槽付消防ポンプ自動車 | 1 台   |
|      | 手引きガソリンポンプ  | 12 台  |
|      | 腕用ポンプ       | 16 台  |
|      | 防火水槽        | 63 基  |
|      | 消火栓         | 395 基 |
- 25 . 4 市制施行により美唄市となる。(16,356 世帯、87,095 人)  
消防団常備が美唄市消防本部・消防署として発足 消防職員定員 30 名  
初代消防長 前田富蔵、初代署長 深尾三郎
- 25 . 9 北海道消防ポンプ操法競技大会に初出場
- 26 . 2 茶志内消防団 中村分団発足 団員 20 名
- 26 . 3 三井新美唄消防団解団 同地域を三井美唄消防団管轄区域に編入  
美唄消防 10 団 1,055 名
- 26 . 4 消防職員 定員 38 名  
茶志内出張所開設 職員 2 名配置
- 26 . 7 北海道消防ポンプ操法競技大会出場 B 級 第 3 位入賞

- 26 . 9 美唄駅前大火 焼失21戸、損害額3,950万円
- 27 . 4 消防職員 定員40名
- 27 . 6 峰延機関員出張所開設 職員1名配置
- 27 . 7 美唄消防団創立50周年記念式典挙行
- 27 . 9 南美唄機関員出張所開設 職員1名配置
- 28 . 4 消防職員 定員45名  
美唄市街地大火 焼失41戸 損害額2,620万円
- 29 . 4 第一機関員出張所開設 職員1名配置
- 29 . 12 南美唄市街大火 焼失28戸 損害額1億900万円
- 31 . 4 美唄消防4団に再編成  
美唄消防団 11分団 273名  
三菱美唄消防団 3分団 325名  
三井美唄消防団 120名  
三菱茶志内消防団 50名
- 31 . 6 旭機関員出張所開設 職員1名配置
- 31 . 7 美唄市消防火災出動要綱制定
- 31 . 11 美唄消防団我路分団発足 団員60名
- 32 . 7 茶志内出張所を茶志内機関員出張所に改称 職員1名配置
- 32 . 10 沼南分団詰所新築
- 32 . 12 美唄消防団上美唄分団発足 団員22名
- 33 . 3 日東市街大火 焼失29戸 損害額800万円
- 33 . 4 消防職員 定員48名
- 35 . 8 日本損害保険協会から普通消防ポンプ自動車の寄贈を受け署に配備
- 36 . 8 美唄消防団東明分団発足 団員30名
- 36 . 9 東明機関員出張所開設 職員1名配置  
消防無線固定局開設 基地局～1、移動局～2
- 38 . 2 美唄市火災予防条例(条例1号)公布
- 39 . 4 消防職員 定員55名  
三井美唄消防団解団 美唄消防団に編入し三井分団発足 団員38名  
三井出張所開設 職員4名配置
- 39 . 5 我路分遣所を出張所に改称
- 40 . 10 三菱美唄消防団を東美唄消防団に改称 団員180名
- 40 . 11 東美唄出張所開設 職員2名配置

- 41 . 8 集中豪雨(降水量249mm) 死傷者4名  
家屋、河川、道路、橋梁の損壊 被害総額23億8,240万円
- 42 . 3 三菱茶志内消防団解団 同地域を美唄消防団茶志内分団管轄区域に編入
- 42 . 3 昭和41年8月豪雨水防活動に対し、美唄消防団が建設大臣表彰受賞
- 42 . 9 美唄市消防本部救急業務実施規定制定 救急業務開始
- 43 . 3 南美唄出張所・分団詰所新築  
美唄消防団条例の一部改正 団員定員566名とする。
- 43 . 4 三井分団を解団 同地域を南美唄分団管轄区域に編入  
三井出張所廃止
- 43 . 11 救急車1台購入 署に配備
- 45 . 11 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け中央分団に配備
- 46 . 1 寄宿舍火災(焼失59㎡) 焼死者10名、負傷者1名
- 46 . 2 美唄市消防本部・署庁舎新築(現西1条北6丁目1番30号)  
鉄筋コンクリート2階建 延1,058㎡  
消防無線更新 基地局～1、移動局～5  
望楼勤務廃止
- 46 . 7 消防職員 定員58名
- 47 . 3 川西栄三団長が消防庁長官功労章受賞
- 47 . 7 東美唄消防団解団 同地域を美唄消防団我路分団管轄区域に編入
- 47 . 8 東美唄出張所廃止
- 47 . 10 化学車1台購入 署に配備  
相次ぐ炭鉱閉山のため一市一団となり美唄市消防団と改称  
1団 14分団 386名
- 48 . 2 美唄市消防団が優良消防団として、日本消防協会より表彰旗授与される。
- 48 . 4 峰延機関員出張所を出張所に改称 職員3名配置
- 48 . 8 北海道消防操法大会出場(中央分団)
- 48 . 10 消防本部・署機構改革、消防本部2課4係・1署制とする。  
第一機関員出張所・旭機関員出張所閉鎖
- 49 . 1 出初式においてキヤリ行進を始める。
- 49 . 7 日本船舶振興会から小型ポンプ付積載車の寄贈を受け進徳分団に配備
- 49 . 8 光珠内分団詰所新築
- 50 . 4 大型移動水槽車(10t)1台購入 署に配備
- 50 . 8 台風6号集中豪雨(降水量200mm)

- 50 . 8 石狩川越水により市内中河川氾濫 被害総額33億3,000万円  
北海道救助技術指導会に初参加  
空知信用金庫より救急車の寄贈を受け署に配備(2台体制)
- 51 . 2 昭和50年8月 台風6号水防活動に対し、美唄市消防団が建設大臣表彰受賞
- 51 . 7 我路分団解団、同地域を東明分団管轄区域に編入
- 51 . 10 美唄市消防団条例及び規則一部改正 13分団 定員312名
- 51 . 12 消防本部、署機構改革、消防本部3課6係・1署制とする。
- 52 . 10 茶志内出張所・分団詰所新築
- 53 . 7 北海道消防操法大会出場(峰延分団)
- 53 . 10 15m級屈折はしご付消防ポンプ自動車1台購入 署に配備  
東明機関員出張所を出張所に改称 職員3名配置
- 54 . 6 南美唄機関員出張所を出張所に改称 職員2名配置
- 54 . 10 東明出張所・分団詰所新築
- 55 . 11 署に通信一斉指令装置導入
- 55 . 12 旭分団詰所新築
- 56 . 8 集中豪雨(降水量426.8mm)  
市内中河川氾濫 被害総額41億5,700万円
- 56 . 9 日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受け、署に配備
- 56 . 10 消防無線更新 基地局～1、移動局～9、携帯～2  
署に消防気象観測装置導入
- 56 . 11 8月集中豪雨水防活動により美唄市消防団が建設大臣表彰受賞
- 57 . 7 孫在永氏から災害救助用アルミボート3艘及び救命胴衣50着の寄贈を受ける。
- 57 . 9 昭和56年8月集中豪雨水防活動により美唄市消防団が内閣総理大臣表彰受賞
- 58 . 4 第一分団詰所新築(福祉会館に併設)
- 58 . 9 美唄市消防団条例及び規則一部改正 13分団 定員285名
- 60 . 4 各出張所を分遣所に改称
- 60 . 11 上美唄分団詰所新築(福祉会館に併設)
- 61 . 2 美唄市消防安全管理規程制定
- 61 . 9 進徳分団詰所新築
- 62 . 11 北海道共済農業協同組合連合会から救急自動車1台の寄贈を受け、署に配備
- 62 . 12 中村分団詰所新築(中村地区コミュニティ消防センター)
- 63 . 4 消防本部・署機構改革、消防本部2課4係・1署6係制とする。  
我路分遣所廃止、連絡所とする。

- 63 . 4 東明分団我路部廃止
- 63 . 9 北海道救急医療情報システム運用開始
- 63 . 12 大富分団詰所新築(大富地区コミュニティ消防センター)

平成

- 元 . 4 消防本部・署機構改革、消防本部 2 課 5 係・ 1 署 8 係制とする。
- 2 . 12 災害弱者緊急通報システム運用開始  
峰延分遣所・分団詰所新築(峰延地区コミュニティ消防センター)
- 3 . 4 北海道広域消防相互応援協定を締結
- 3 . 6 西美唄保育所幼年消防クラブを結成
- 4 . 6 茶志内双葉・進徳保育園幼年消防クラブを結成
- 4 . 7 峰延・光珠内・茶志内・中村みのり保育所幼年消防クラブを結成
- 4 . 11 南美唄分遣所・分団詰所新築(南美唄地区コミュニティ消防センター)  
大坪喜代太氏からマイクロバスの寄贈を受け、「美消号」と命名する。  
美唄市名誉消防団員規程制定
- 5 . 3 水槽付消防ポンプ自動車(6,500 L) 1 台購入 署に配備
- 6 . 8 日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車(2,000 L)の寄贈を受け、  
峰延分団に配備
- 6 . 11 美唄市消防団キヤリ保存会結成
- 7 . 3 我路連絡所廃止
- 7 . 7 北海道消防操法訓練大会出場(上美唄分団 小型ポンプ操法の部)
- 8 . 3 国道 12 号線拡幅工事に伴い消防庁舎の増改築工事を完了する。  
鉄筋コンクリート・一部鉄骨造り 2 階建 1,890.02㎡  
消防緊急通信指令施設 型・消防団緊急伝達システム導入  
高規格救急自動車 1 台購入 4 月から運用開始する。
- 8 . 9 消防庁舎増改築に伴う外溝整備工事が完了する。
- 8 . 11 消防団で女性消防団員 8 名採用  
大坪喜代太氏から美唄市消防団キヤリ保存会に太鼓 5 張の寄贈を受け、  
「美消太鼓」と命名する。
- 9 . 3 大坪喜代太団長が消防庁長官功労章受賞
- 9 . 4 機構改革により 1 署 10 係制及び東明・南美唄・峰延分遣所に所長を置く。
- 10 . 2 30m 級はしご付消防自動車 1 台購入 署に配備

- 10 . 11 美唄市消防団が優良消防団として、北海道より表彰旗授与される。
- 10 . 12 沼南分団詰所新築(沼南地区コミュニティ消防センター)
- 11 . 3 茶志内分遣所廃止
- 12 . 4 有珠山噴火に伴い北海道広域消防相互応援協定によりポンプ隊1隊5名派遣する。
- 13 . 3 救助工作車(型)1台購入 署に配置
- 14 . 3 美唄市消防本部、美唄市消防団、消防庁長官より竿頭授与される。  
光珠内分団拓北部廃止
- 15 . 4 機構改革 消防署を2課制とし課長補佐を置く。
- 15 . 7 大坪喜代太氏からマイクロバスの寄贈を受ける。
- 15 . 8 財団法人日本宝くじ協会から訓練指導車「けすゾウくん」の寄贈を受ける。
- 15 . 10 十勝沖地震による出光興産(株)北海道製油所タンク火災に伴い北海道広域消防相互  
応援協定により化学車隊1隊15名派遣する。
- 16 . 6 美唄消防公設100年記念式典挙行
- 16 . 9 台風18号強風被害(市内最高風速37.5m) 被害総額10億6,091万円
- 17 . 2 高規格救急自動車1台購入 署に配置。高規格救急自動車2台体制
- 17 . 6 美唄市消防団キヤリ保存会10周年記念式典挙行
- 18 . 11 化学消防ポンプ自動車(型)1台購入 署に配置
- 19 . 3 美唄市消防本部、美唄市消防団、消防庁長官より表彰旗授与される。  
矢部正義団長が消防庁長官功労章受賞
- 19 . 4 美唄市消防団規則一部改正 9分団 定員285名  
中央分団・旭分団・東明分団・南美唄分団・光珠内分団・峰延分団  
西美唄分団・中村分団・茶志内分団
- 19 . 9 東明分遣所廃止
- 19 . 10 大通西1条南2丁目建物火災で職員2名殉職
- 19 . 11 美唄市消防葬挙行
- 20 . 3 日本消防協会より防災指導車の交付を受け、署に配置
- 20 . 4 消防職員 定員48名
- 21 . 4 機構改革 消防署に救急課を置く
- 22 . 10 高規格救急自動車1台購入 署に配置

## 歴 代 消 防 長

代 数	階 級	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初 代	消防司令長	前 田 富 蔵	昭和 25 年 4 月 1 日	昭和 29 年 9 月 25 日
第 2 代	消防司令長	佐 藤 始 馬	昭和 29 年 9 月 25 日	昭和 43 年 5 月 1 日
第 3 代	消防司令長	大 窪 隆 義	昭和 43 年 5 月 1 日	昭和 44 年 4 月 1 日
第 4 代	消防司令長	平 泉 利 正	昭和 44 年 4 月 1 日	昭和 48 年 3 月 31 日
第 5 代	消防司令長	石 田 正 雄	昭和 48 年 4 月 1 日	昭和 51 年 12 月 20 日
第 6 代	消 防 監	仁 村 清 次	昭和 51 年 12 月 21 日	昭和 58 年 4 月 1 日
第 7 代	消 防 監	会 木 猛	昭和 58 年 4 月 1 日	昭和 61 年 3 月 31 日
第 8 代	消 防 監	井 坂 進	昭和 61 年 4 月 1 日	昭和 63 年 3 月 31 日
第 9 代	消 防 監	藤 崎 秀 明	昭和 63 年 4 月 1 日	平成 7 年 3 月 31 日
第 10 代	消 防 監	伊 藤 順 一	平成 7 年 4 月 1 日	平成 8 年 12 月 8 日
第 11 代	消 防 監	木 内 汎 司	平成 9 年 4 月 1 日	平成 13 年 3 月 31 日
第 12 代	消 防 監	中 明 廣 幸	平成 13 年 4 月 1 日	平成 15 年 3 月 31 日
第 13 代	消防司令長	佐 藤 賢 治	平成 15 年 4 月 1 日	平成 21 年 3 月 31 日
第 14 代	消防司令長	霜 田 公 法	平成 21 年 4 月 1 日	

平成 18 年 4 月階級規則改正により消防長の階級を消防監から消防司令長とする。

## 歴 代 消 防 署 長

代 数	階 級	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初 代	消 防 司 令	深 尾 三 郎	昭 和 25 年 4 月 1 日	昭 和 40 年 5 月 10 日
第 2 代	消 防 司 令	田 村 勝 視	昭 和 40 年 6 月 1 日	昭 和 44 年 4 月 1 日
第 3 代	消 防 司 令	平 泉 利 正	昭 和 44 年 4 月 1 日	昭 和 48 年 3 月 31 日
第 4 代	消 防 司 令	石 田 正 雄	昭 和 48 年 4 月 5 日	昭 和 48 年 9 月 30 日
第 5 代	消 防 司 令	仁 村 清 次	昭 和 48 年 10 月 1 日	昭 和 53 年 3 月 31 日
第 6 代	消 防 司 令 長	会 木 猛	昭 和 53 年 4 月 1 日	昭 和 58 年 4 月 1 日
第 7 代	消 防 司 令 長	井 坂 進	昭 和 58 年 4 月 1 日	昭 和 61 年 3 月 31 日
第 8 代	消 防 司 令 長	藤 崎 秀 明	昭 和 61 年 4 月 1 日	昭 和 63 年 3 月 31 日
第 9 代	消 防 司 令 長	落 合 幸 作	昭 和 63 年 4 月 1 日	平 成 4 年 3 月 31 日
第 10 代	消 防 司 令 長	伊 藤 順 一	平 成 4 年 4 月 1 日	平 成 7 年 3 月 31 日
第 11 代	消 防 司 令 長	木 内 汎 司	平 成 7 年 4 月 1 日	平 成 9 年 3 月 31 日
第 12 代	消 防 司 令 長	中 明 廣 幸	平 成 9 年 4 月 1 日	平 成 13 年 3 月 31 日
第 13 代	消 防 司 令 長	佐 藤 賢 治	平 成 13 年 4 月 1 日	平 成 15 年 3 月 31 日
第 14 代	消 防 司 令	清 水 史 夫	平 成 15 年 4 月 1 日	平 成 21 年 3 月 31 日
第 15 代	消 防 司 令	後 藤 樹 人	平 成 21 年 4 月 1 日	

平成 18 年 4 月階級規則改正により署長の階級を消防司令長から消防司令とする。

## 歴 代 組 頭 ・ 団 長

名 称	代 数	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
沼貝消防組	初 代	鈴 木 武四郎	明治 37 年 10 月 21 日	明治 38 年
沼貝消防組	第 2 代	吉 積 儀 蔵	明治 38 年	明治 42 年 6 月
沼貝消防組	第 3 代	谷 本 秋 次	明治 42 年 6 月	明治 43 年 5 月
沼貝消防組	第 4 代	山 田 与三松	明治 43 年 5 月	明治 45 年
沼貝消防組	第 5 代	海老名 広 吉	明治 45 年	大正 8 年 8 月
沼貝消防組	第 6 代	野 村 甚太郎	大正 8 年 8 月	大正 15 年 6 月
美唄消防組	初 代	野 村 甚太郎	大正 15 年 6 月	大正 15 年 10 月
美唄消防組	第 2 代	山 本 寅 吉	大正 15 年 10 月	昭和 12 年 12 月
美唄消防組	第 3 代	池 田 千 治	昭和 12 年 12 月	昭和 14 年 4 月 1 日
美唄警防団	初 代	池 田 千 治	昭和 14 年 4 月 1 日	昭和 18 年 3 月 14 日
美唄警防団	第 2 代	奥 山 政次郎	昭和 18 年 4 月	昭和 22 年 8 月 1 日
美唄消防団	初 代	前 田 富 蔵	昭和 22 年 8 月 1 日	昭和 25 年 3 月 31 日
美唄消防団	第 2 代	小 松 智 一	昭和 25 年 7 月 1 日	昭和 31 年 3 月 31 日
美唄消防団	第 3 代	川 西 栄 三	昭和 31 年 6 月 1 日	昭和 47 年 10 月 14 日
美唄市消防団	初 代	川 西 栄 三	昭和 47 年 10 月 14 日	昭和 54 年 10 月 20 日
美唄市消防団	第 2 代	伊 藤 誠 市	昭和 54 年 10 月 20 日	昭和 62 年 3 月 31 日
美唄市消防団	第 3 代	大 坪 喜代太	昭和 62 年 4 月 1 日	平成 13 年 3 月 31 日
美唄市消防団	第 4 代	矢 部 正 義	平成 13 年 4 月 1 日	

## 美唄市名誉消防団員

号数	氏名	名誉称号贈呈年月日	備考
1	伊藤誠市	平成5年1月7日	平成5年7月13日逝去
2	鈴木三郎	平成5年1月7日	
3	大坪喜代太	平成13年7月8日	平成22年1月27日逝去
4	田村光治	平成15年7月13日	
5	土本了	平成20年7月13日	
6	齋藤邦男	平成22年7月11日	

## 叙 勲 者 名 簿

受賞年月日	氏 名	勲章の種類	摘 要
昭和 43 年 4 月 29 日	藤 田 岩	勲七等瑞宝章	元中央分団長
昭和 45 年 7 月 28 日	佐 藤 始 馬	従五位勲四等瑞宝章	元消防長
昭和 50 年 4 月 29 日 昭和 60 年 9 月 18 日	川 西 栄 三	勲五等双光旭日章 従五位勲四等瑞宝章	元消防団長
昭和 52 年 4 月 29 日	福 井 勇	勲六等瑞宝章	元消防司令補
昭和 52 年 11 月 3 日 昭和 60 年 9 月 18 日	深 尾 三 郎	勲五等瑞宝章 従五位	元消防署長
昭和 54 年 4 月 29 日	古 泉 吉 郎	勲七等瑞宝章	元茶志内副分団長
昭和 55 年 11 月 3 日	山 田 盛 明	勲六等単光旭日章	元消防副団長
昭和 57 年 4 月 29 日	山 崎 政 典	勲七等青色桐葉章	元茶志内分団長
昭和 58 年 4 月 29 日	好 川 政 勝	勲七等青色桐葉章	元茶志内分団長
昭和 63 年 11 月 3 日	伊 藤 誠 市	勲五等瑞宝章	元消防団長
平成 4 年 4 月 29 日 平成 13 年 4 月 10 日	久保田 俊 男	勲六等単光旭日章 従七位	元消防司令
平成 8 年 11 月 3 日	武 田 忠	勲六等瑞宝章	元消防司令
平成 10 年 5 月 20 日	工 藤 恭 雄	勲六等単光旭日章 正七位	元消防司令
平成 11 年 2 月 21 日	道 山 守	勲六等単光旭日章 正七位	元消防司令
平成 13 年 4 月 29 日	中 野 興 吉	勲六等瑞宝章	元東明分団長

## 叙 勲 者 名 簿

受賞年月日	氏 名	勲章の種類	摘 要
平成 15 年 4 月 29 日	大 坪 喜代太	勲五等双光旭日章	元消防団長
平成 15 年 11 月 3 日	安 藤 富 夫	瑞宝単光章	元消防司令
平成 16 年 4 月 29 日	落 合 幸 作	瑞宝単光章	元消防司令長
平成 16 年 11 月 3 日	田 村 光 治	瑞宝単光章	元消防副団長
平成 16 年 11 月 3 日 平成 19 年 1 月 30 日	林 幸 夫	瑞宝単光章 正七位	元消防司令
平成 17 年 4 月 29 日	佐 藤 幸 一	瑞宝単光章	元消防司令補
平成 17 年 11 月 3 日	武 藤 猛	瑞宝単光章	元消防司令
平成 18 年 4 月 29 日	河 野 悦 雄	瑞宝単光章	元消防司令
平成 18 年 11 月 3 日	河 奥 利 章	瑞宝単光章	元消防司令補
平成 19 年 4 月 29 日 平成 21 年 12 月 15 日	會 木 猛	瑞宝双光章 正七位	元消防監
平成 19 年 4 月 29 日	川 原 武 男	瑞宝単光章	元消防司令
平成 19 年 4 月 29 日	高 倉 芳 昭	瑞宝単光章	元消防司令補
平成 19 年 10 月 27 日	北 清 幸 司	旭日単光章	元消防司令
平成 19 年 10 月 27 日	山 岸 信 貴	旭日単光章	元消防士長
平成 19 年 11 月 3 日	井 坂 進	瑞宝双光章	元消防監
平成 20 年 4 月 29 日	藤 崎 秀 明	瑞宝双光章	元消防監
平成 20 年 11 月 3 日	木 内 汎 司	瑞宝双光章	元消防監
平成 21 年 4 月 29 日	太 齋 隆 三	瑞宝単光章	元第一分団長

## 叙 勲 者 名 簿

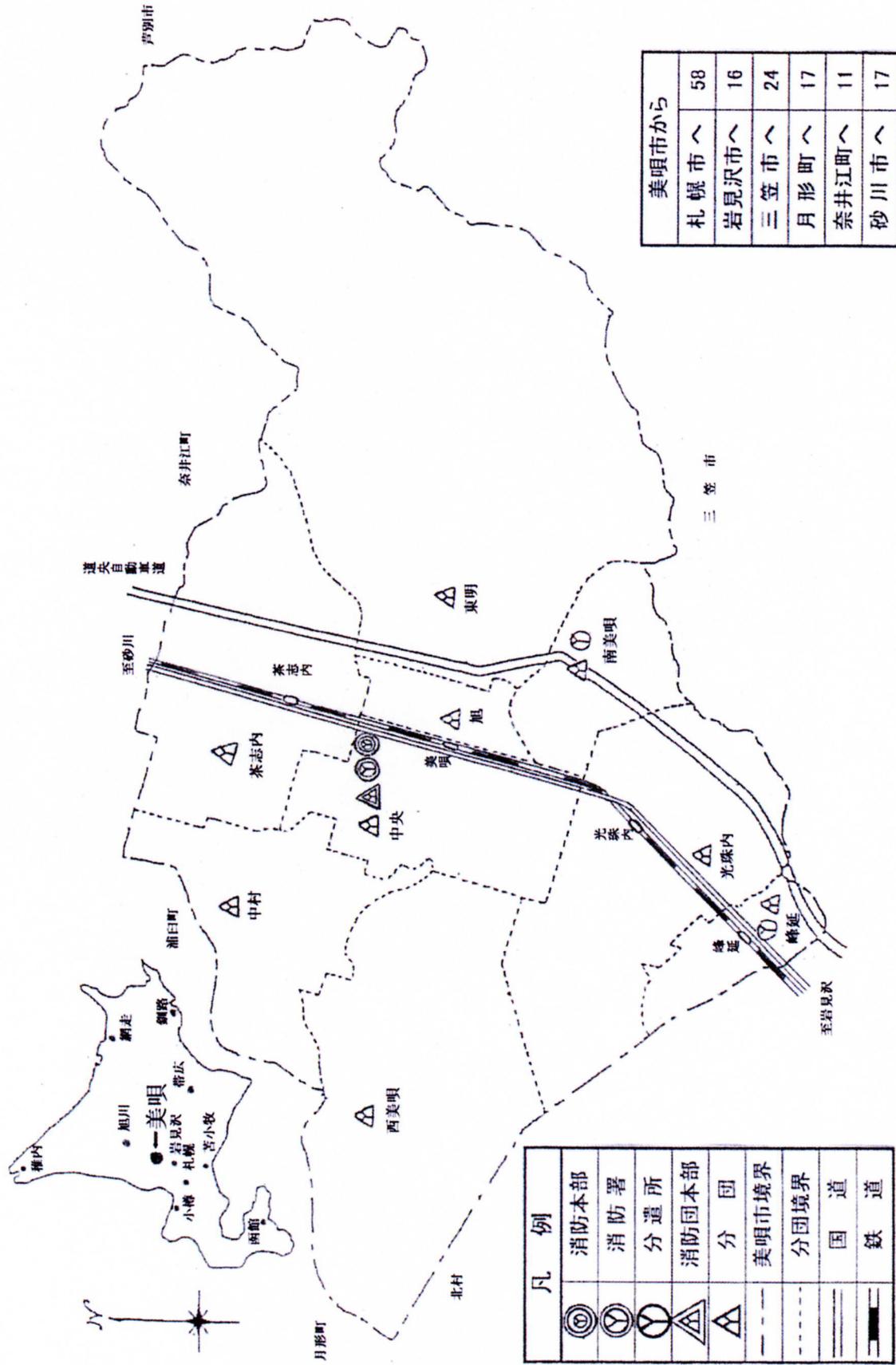
受賞年月日	氏 名	勲章の種類	摘 要
平成 21 年 11 月 3 日	西 館 喜 多	瑞宝単光章	元消防司令
平成 22 年 4 月 29 日	中 明 廣 幸	瑞宝双光章	元消防監
平成 22 年 11 月 3 日	土 本 了	瑞宝単光章	元消防副団長

# 総務



昭和23年 消防庁舎・車両

# 管内略図



美唄市から	
札幌市へ	58
岩見沢市へ	16
三笠市へ	24
月形町へ	17
奈井江町へ	11
砂川市へ	17

凡例	
	消防本部
	消防署
	分遣所
	消防団本部
	分団
	美唄市境界
	分団境界
	国道
	鉄道

# 1 美唄市勢概況

## (1) 位置及び面積

面積	周囲	位置		広ぼう		人口	世帯
		東経	北緯	東西	南北		
km <sup>2</sup> 277.61	834km	東 142°03'50"	南 43°14'46"	32km	19km	26,307人	12,733世帯
		西 141°40'40"	北 43°24'58"				

備考 東は山岳地帯で海拔500m以内の夕張山地が連なり、三笠、芦別の両市に接し、西は石狩川を境にして月形町、浦臼町に接する。南は岩見沢市に、北は奈井江町に接する。

## (2) 消防吏員・消防団員・消防機械の人口及び世帯割合

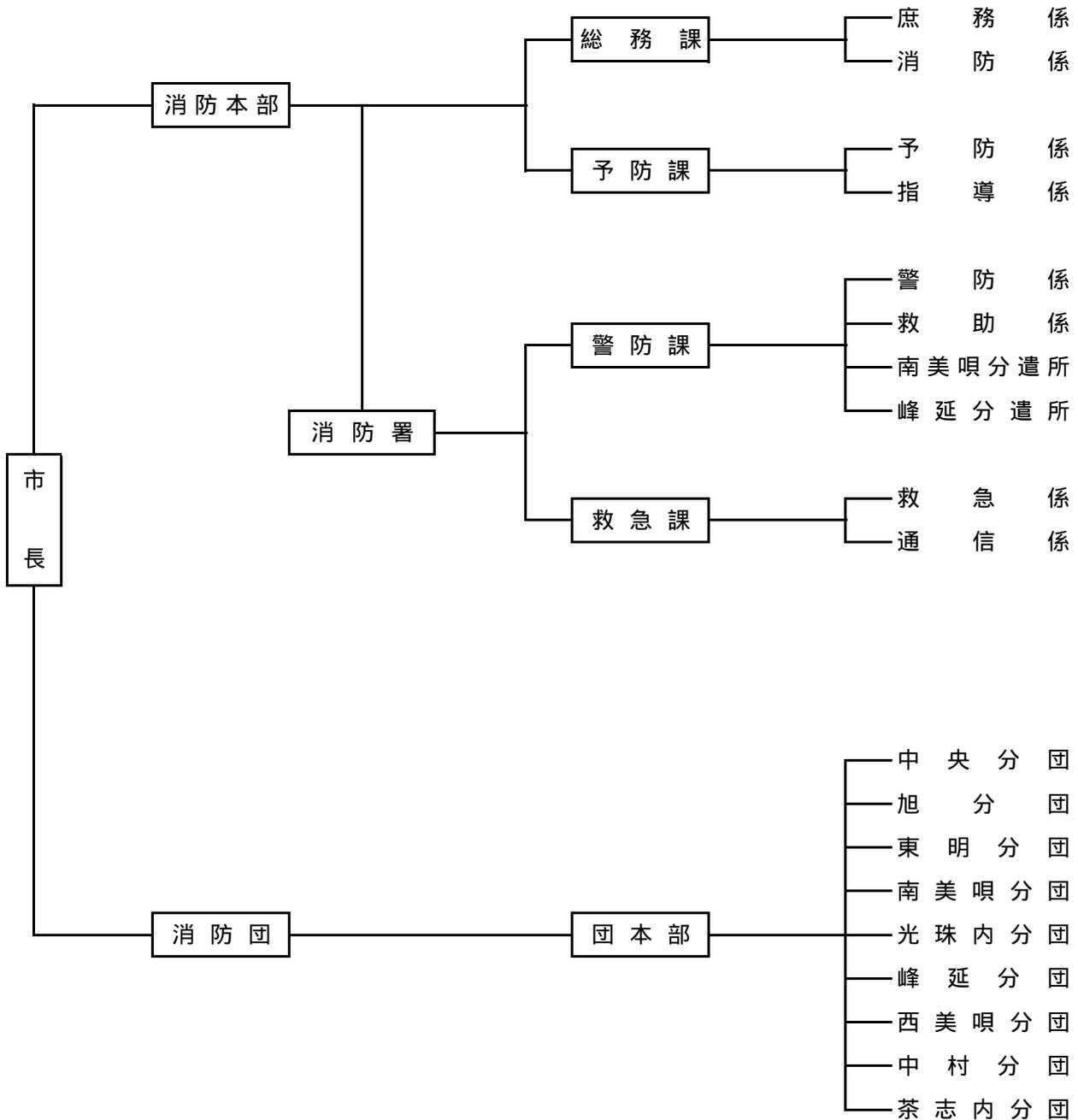
区分	人口	世帯	面積	備考
消防吏員1人当り	585人	283世帯	6.17km <sup>2</sup>	消防機械口数は次による。
消防団員1人当り	101人	49世帯	1.06km <sup>2</sup>	ポンプ自動車 1台2口
消防機械1口当り	1,315人	637世帯	12.61km <sup>2</sup>	小型動力ポンプ 1台1口

## (3) 一般会計と消防予算の比較

区分	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度
一般会計(千円)	15,935,978	17,095,607	16,075,801	16,938,321	18,699,163	17,130,275
消防費(千円)	476,055	417,819	433,750	476,165	536,280	484,950
一般会計に対する消防費	3.0%	2.4%	2.7%	2.8%	2.9%	2.8%
市民一人当り消防費(円)	18,096	15,608	15,889	17,047	18,712	16,583
1世帯当り消防費(円)	37,387	32,686	33,673	36,591	40,646	36,487

## 2 消 防 機 構

### (1) 消防機構図



### (2) 消防本部・消防署組織及び配置

#### ア 消防職員の定員と実員

階級 \ 区分	計	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
定員	48	1	47				
実員	45	1	8	13	17	0	6

(注) その他嘱託4名

イ 消防本部職員配置状況

階 級		計	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消 防 士	嘱 託
所 属									
消 防 長		1	1						
総 務 課	総務課長	1		1					
	課長補佐	1		1					
	庶務係	5			2	2			1
	消防係	3 [1]		[1]	1	1		1	
予 防 課	予防課長	1		1					
	課長補佐	1		1					
	予防係	6			2	3		1	
	指導係	5 [1]		[1]	1	4			
計		24 [2]	1	4 [2]	6	10		2	1

(注) [ ]の数は外数として事務取扱者を示す。

ウ 消防署職員配置状況

階 級		計	司 令	司令補	士 長	副士長	消 防 士	嘱 託
所 属								
消 防 署 長		1	1					
警 防 課	警防課長	[1]	[1]					
	課長補佐	1	1					
	警防係	5 [1]	[1]	1	2		2	
	救助係	4		2	2			
救 急 課	救急課長	1	1					
	課長補佐	1	1					
	救急係	5 [1]	[1]	1	2		2	
	通信係	4		2				2
計		22 [3]	4 [3]	6	6		4	2

(注) [ ]の数は外数として事務取扱者を示す。

エ 分遣所職員配置状況

階 級		計	司 令	司令補	士 長	副士長	消 防 士	嘱 託
所 属								
南 美 唄 分 遣 所		1						1
峰 延 分 遣 所		2		1	1			
計		3		1	1			1

才 消防職員階級別勤続年数調

階級 年数	計	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
5年未満	6				1		5
5年～10年未満	4				3		1
10年～15年未満	5				5		
15年～20年未満	7				7		
20年～25年未満	4			4			
25年～30年未満	10		2	8			
30年以上	9	1	6	1	1		
計	45	1	8	13	17		6
平均(年・月)	19・9	35・9	31・9	26・9	14・9		3・8

力 消防職員階級別年齢調

階級 年数	計	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
20歳未満	1						1
20歳～25歳未満	1						1
25歳～30歳未満	8				5		3
30歳～35歳未満	4				3		1
35歳～40歳未満	6				6		
40歳～45歳未満	6			4	2		
45歳～50歳未満	12		3	9			
50歳～55歳未満	4		4				
55歳以上	3	1	1		1		
計	45	1	8	13	17		6
平均(歳・月)	40・6	59・6	51・6	45・6	35・6		26・4

キ 消防職員資格取得状況

資格種別 階級	大型自動車運転免許	大型特殊免許	小型移動式クレーン	玉掛け	救急課程	救急課程	救急標準課程	救急救命士	乙種危険物取扱者	消防設備士	特殊無線技士	ガス溶接士	電気溶接士	酸欠作業主任	硫化水素作業主任	整備管理者	衛生管理者	特定化学作業主任	
消防司令長	1				1	1		1											
消防司令	8	1	3	2	8	2		1	1		2	3	1	3		1	1		
消防司令補	13	1	8	5	13	12		3			4	5	1	7	3	2		1	
消防士長	16	2	7	6	3	2	13	4	9	1	2	4	3	6	6			1	
消防副士長																			
消防士	4		1	1			1	4	1	1	1								
計	42	4	19	14	25	17	14	13	11	2	9	12	5	16	9	3	1	2	

### (3) 消防団組織

#### ア 消防団員の定員と実員

区分	階級	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
定員		285	1	2	12	12	30	55	173
実員		261	1	2	12	12	29	55	150

#### イ 消防団員配置状況

所属	階級	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
	定員								
団本部	20	17	1	2	3		1	3	7
中央分団	35	28			1	2	3	6	16
旭分団	30	26			1	1	3	6	15
東明分団	25	25			1	1	3	5	15
南美唄分団	25	21			1	1	3	5	11
光珠内分団	40	38			1	2	4	8	23
峰延分団	25	21			1	1	3	5	11
西美唄分団	40	40			1	2	4	8	25
中村分団	20	20			1	1	2	4	12
茶志内分団	25	25			1	1	3	5	15
計	285	261	1	2	12	12	29	55	150

ウ 消防団員階級別勤続年数調

年 数 \ 階 級	計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
1年未満	26							26
1年 ~ 5年未満	50							50
5年 ~ 10年未満	43						4	39
10年 ~ 15年未満	43			1		1	13	28
15年 ~ 20年未満	35					7	22	6
20年 ~ 25年未満	27			1	3	7	16	
25年 ~ 30年未満	24			5	6	12		1
30年以上	13	1	2	5	3	2		
計	261	1	2	12	12	29	55	150
平均(年・月)	13・0	47・0	36・8	29・5	27・6	23・6	17・7	6・7

エ 消防団員階級別年齢調

年 数 \ 階 級	計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
20歳未満	1							1
20歳 ~ 25歳未満	6							6
25歳 ~ 30歳未満	17							17
30歳 ~ 35歳未満	40					1	3	36
35歳 ~ 40歳未満	54						8	46
40歳 ~ 45歳未満	36					3	11	22
45歳 ~ 50歳未満	45			2	2	9	15	17
50歳 ~ 55歳未満	31			2	4	7	15	3
55歳 ~ 60歳未満	17		1	3	3	6	2	2
60歳以上	14	1	1	5	3	3	1	
計	261	1	2	12	12	29	55	150
平均(歳・月)	42・7	70・4	60・9	57・5	55・6	51・5	46・6	37・6

才 消防団員災害延出動人員調

月 別 所 属	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	団 本 部	56			7	8	6	4		2	6	7	13
中 央 分 団	70			6	8	6	11			8		28	3
旭 分 団	109			25	18	12	9		15	7		16	7
東 明 分 団	139			32	25	15	15		20			20	12
南 美 唄 分 団	46				8		18			20			
光 珠 内 分 団	131				4		15		79	33			
峰 延 分 団	50				6	11	16			17			
西 美 唄 分 団	182				11	40	39		92				
中 村 分 団	74				11		18		30		15		
茶 志 内 分 団	77				16		22				22	17	
計	934	0	0	70	115	90	167	0	238	91	44	94	25

### 3 消 防 施 設

#### 消防用建造物一覧表

名 称	所 在 地	構 造	建 築 年 月	経過年	土地面積 (㎡)	建物延面積 (㎡)	摘 要
消 防 本 部 ・ 署	西1条北6丁目1番30号	鉄筋コンクリート・一部鉄骨造 2階建	昭和46年 1月	39	市有 3,095.78	1,890.02	中央分団併用 平成8年3月増改築
中 央 分 団	同 上	同 上					
旭 分 団	東4条南1丁目2番13号	木造モルタル 平屋建	昭和55年12月	30	市有 288.25	86.12	
東 明 分 団	東明5条2丁目1番8号	木造モルタル 平屋建	昭和54年10月	31	借地 399.51	144.80	
南 美 唄 分 団	南美唄町南町	木造防火サイディング張 2階建	平成 4年11月	18	借地 370.04	177.20	南美唄分遣所併用 (コミセン)
光 珠 内 分 団	光珠内町2区	鉄骨造 平屋建	平成10年12月	12	市有 348.38	103.23	コミュニティ消防センター
峰 延 分 団	峰延町本町	木造防火サイディング張 2階建	平成 2年12月	20	市有 794.33	173.89	峰延分遣所併用 (コミセン)
西 美 唄 分 団	西美唄町元村美富	鉄骨造 平屋建	昭和60年12月	25	市有 1,654.10	(104.34)	西美唄福祉会館併設 376.30㎡
中 村 分 団	中村町中央	鉄骨造 平屋建	昭和62年12月	23	市有 359.21	86.19	コミュニティ消防センター
茶 志 内 分 団	茶志内町2区	木造モルタル 2階建	昭和52年10月	32	市有 993.43	160.60	

# 警 防



平成10年製 はしご車(30m級)

# 1 消 防 装 備

## (1) 消防自動車配置表

所属別	区 分	種 別	車 種	年 式	登 録 番 号	購 入 年 月 日	使 用 年 数	備 考
消 防 署	1号車	水槽車	日野	H5	札幌88た21-51	H5.3.25	18	積載水 6,500ℓ
	3号車	化学車	日野	H18	札幌800は22-57	H18.11.22	5	積載水 2,000ℓ 薬剤 500ℓ
	4号車	救助工作車	日野	H13	札幌800は 8-53	H13.3.19	10	2.9t小型クレーン搭載 2kw×2基大型 照明装置搭載
	5号車	移動水槽車	日野	H5	札幌88た23-82	H5.12.3	18	積載水 10,000ℓ
	6号車	はしご車	日野	H10	札幌88た38-84	H10.2.18	13	30m級
	救急車No1	高規格救急車	トヨタ	H22	札幌800そ 8-11	H22.10.28	1	
	救急車No2	高規格救急車	トヨタ	H17	札幌830と 99	H17.2.22	6	
	指揮車		マツダ	H20	札幌800せ71-06	H20.2.28	3	日本消防協会より 交付
	査察車		トヨタ	H4	札幌88て56-65	H4.8.26	19	
	連絡車		日産	H20	札幌502ひ 11	H20.7.1	3	
	マイクロバス		日産	H15	札幌200さ 7-60	H15.7.23	8	
	訓練指導車		マツダ	H15	札幌100す91-33	H15.8.20	8	財団法人宝くじ協 会より寄贈
中央分団車 (2号車)	水槽車	日野	H元	札幌88た 8-43	H1.12.11	22	積載水 2,000ℓ	
旭分団車	ポンプ車	いすゞ	S60	札 88 せ88-79	S60.10.12	26		
東明分団車	ポンプ車	いすゞ	S61	札 88 せ97-55	S61.10.9	25		
南美唄分団車	ポンプ車	日野	H12	札幌830さ24-16	H12.1.26	11		
峰延分団車	水槽車	三菱	H6	札幌88て87-99	H6.8.25	17	火災保険号 積載水 2,000ℓ	
茶志内分団車	ポンプ車	三菱	H15	札幌800す63-88	H15.2.3	8		
計	18台							

(2) 小型動力ポンプ積載車配置表

所属別	区分	車種及び形式	年式	登録番号	購入年月日	使用年数
光珠内分団車		三菱(キャンター) U-FD501B改	H6	札幌88て94-22	平成6年12月21日	17
西美唄分団車		日産(アトラス) U-SP8F23改	H4	札幌88て60-46	平成4年11月10日	19
中村分団車		日産(アトラス) U-SP8F23改	H5	札幌88て74-22	平成5年10月25日	18
計		3台				

(3) 小型動力ポンプ配置表

所属別	区分	名称	出力 (PS)	種別	最大 放水量 (L/min)	級別	購入年月日	使用年数	備考
消防署		シバウラ	31~54	高圧一段 タービン	1,120	B2	平成5年12月3日	18	署5号車に積載 (横型2サイクル水冷式)
本署予備1		シバウラ	31~40	高圧一段 タービン	1,200	B3	昭和63年2月22日	23	
本署予備2		シバウラ	31~40	高圧一段 タービン	1,200	B3	昭和59年7月30日	27	
本署予備3		シバウラ	31~40	高圧一段 タービン	1,200	B3	昭和57年9月1日	29	
女性団員用		ラビット	4	高圧一段 タービン	240	D1	平成19年12月21日	4	財団法人日本消防協会 より寄贈
光珠内分団		シバウラ	31~40	高圧一段 タービン	1,200	B3	平成6年12月21日	17	
西美唄分団		シバウラ	31~40	高圧一段 タービン	1,200	B3	平成4年11月10日	19	
中村分団		シバウラ	31~40	高圧一段 タービン	1,200	B3	平成5年10月25日	18	
計		8台							

(4) 消防水利の現有状況

区分  区域別		防火水槽						消火栓（地上式）			
		計	木造			鉄筋コンクリート			計	双口	単口
			40m <sup>3</sup> 以上	40m <sup>3</sup> } 20m <sup>3</sup>	20m <sup>3</sup> 未満	40m <sup>3</sup> 以上	40m <sup>3</sup> } 20m <sup>3</sup>	20m <sup>3</sup> 未満			
消防署	中央分団	19				14	4	1	113	2	111
	旭分団	7				6	1		107		107
南美唄分団（南美唄分遣所）		13		1		10	2		47		47
峰延分団（峰延分遣所）		6				3	3		22	2	20
東明分団		21		1	1	8	4	7	56	4	52
茶志内分団		6				4	2		43	6	37
光珠内分団		1				1			21	4	17
西美唄分団		1		1					14		14
中村分団									8		8
計		74		3	1	46	16	8	431	18	413

## 2 救助活動

### (1) 救助出動件数及び活動件数

区分 件数	計	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他 の事故
		建物	その他								
出動件数	21			15	1				1		4
活動件数	10			6					1		3
救助人員	10			6					1		3

### (2) 主な救助活動状況

日 時	場 所	事故 種別	救助 人員	使 用 器 材	出動車両種別	事 故 内 容
2月5日 13時11分	豊葦町3区 道道峰延月形線路上	交通 事故	1	ホルマトロー式 バックボード	救助工作車 化学車 救急 1	道道を走行中の乗用車と4トントラックが吹雪による視界不良のため、正面衝突したものの。
5月1日 10時34分	光珠内町北 セイコーマート前 国道交差点	交通 事故	1	ホルマトロー式 油処理剤	救助工作車 化学車 救急 1 指揮車	交差点内での大型トラックと乗用車の正面衝突事故
10月10日 11時39分	中村町中央 中村支所大規模穀類 乾燥調整施設	その他 の事故	1	各種ロープ カラビナ 平担架 ハーネス	救助工作車 救急 1 指揮車	ベルトコンベア清掃作業中に高さ5mから誤って転落したものの

# 救 急



平成22年製 高規格救急車

# 1 救 急 統 計

## (1) 応急手当普及啓発活動状況

	普通救命講習		その他の救急講習	
平成22年	20回	255人	19回	644人
累計(平成6年以降)	266回	4,501人	309回	11,074人

## (2) 月別出動状況

区分 月別	出 動 件 数	搬 送 件 数	不 搬 送 件 数	搬 送 人 員	事 故 種 別											
					火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他
1月	75	69	6	70				(1) 5		1	11			42	10	(5) 6
2月	79	75	4	76				(1) 4	1	1	14		1	(1) 46	10	(2) 2
3月	89	83	6	83	(1) 1			4	2	2	5		(1) 2	(3) 57	13	(1) 3
4月	68	66	2	66				4	1		13		3	(2) 36	10	1
5月	82	78	4	78				6	1	2	8		(1) 1		10	(3) 5
6月	83	78	5	78				(1) 6	1		15		(1) 3	(1) 55	1	(2) 2
7月	69	64	5	64				4		1	8		(1) 2	39	10	(4) 5
8月	87	77	10	77	1			(1) 2		1	(1) 12		(1) 3	(3) 54	10	(4) 4
9月	86	80	6	80				(1) 6	1		8			(2) 53	11	(3) 7
10月	93	86	7	86				6			(1) 11		1	(1) 54	14	(5) 7
11月	67	63	4	66	(1) 1			3			10			(3) 47	6	
12月	96	88	8	89				6			14		2	54	11	(8) 9
計	974	907	67	913	(2) 3			(5) 56	7	8	(2) 129		(5) 18	(16) 586	116	(37) 51
比率	100%				0.3%			5.8%	0.7%	0.8%	13.2%		1.9%	60.2%	11.9%	5.2%

(注)、( )の数は内数とし、不搬送を示す。

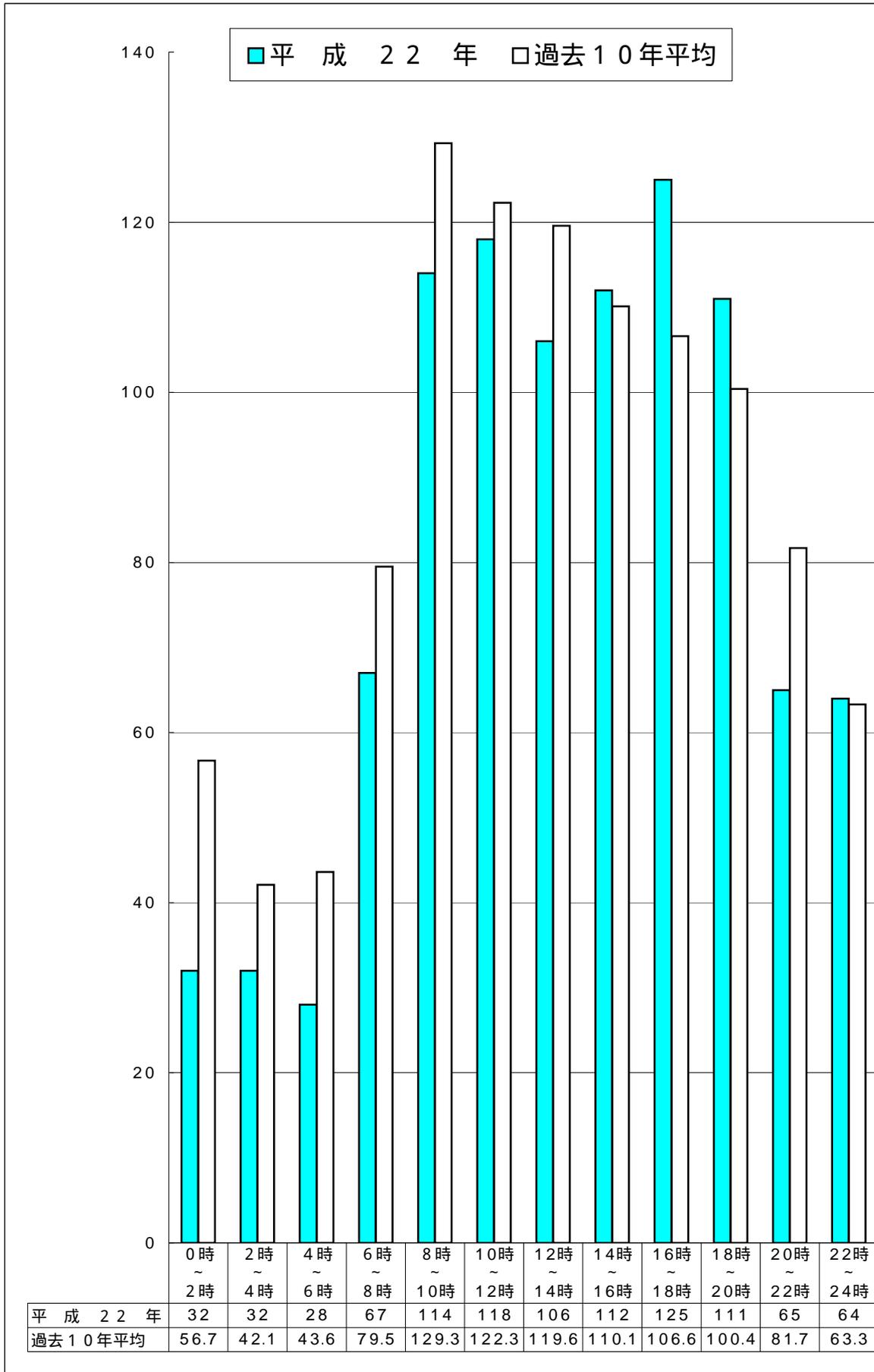
### (3) 曜日別出勤状況

種別 曜日	計	比率	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他
月	150	15.4%				8	2		17		2	98	16	7
火	130	13.3%				5	2	1	10		5	81	19	7
水	127	13.0%				7	2	1	16		2	79	17	3
木	141	14.5%				7		2	17		1	88	16	10
金	146	15.0%				15	1		25		3	80	19	3
土	145	14.9%	2			9		2	22		1	80	19	10
日	135	13.9%	1			5		2	22		4	80	10	11
計	974	100%	3			56	7	8	129		18	586	116	51

### (4) 覚知別出勤状況

種別 覚知別	計	比率	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他
119番	582	59.7%	1			11	5	4	90		11	441	3	16
携帯119	133	13.7%				26	2	2	21		4	71		7
直収電話	24	2.5%				1			4			18		1
加入電話	194	19.9%				14		2	11		3	33	111	20
自己覚知	1	0.1%											1	
駆け付け	1	0.1%										1		
緊急通報装置	31	3.2%							3			21		7
道路公団電話	1	0.1%				1								
消防無線	7	0.7%	2			3						1	1	
計	974	100%	3			56	7	8	129		18	586	116	51

(5) 救急出場の時間別件数調



(6) 年齢区分別搬送人員状況

事故種別 年齢区分	計	比 率	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他
新生児														
乳幼児	17	1.9%				1			3			12	1	
少年	20	2.2%				6		6	3		1	4		
成人	298	32.6%	1			33	7	1	38		9	173	28	8
老人	578	63.3%				17		1	83		3	381	87	6
計	913	100.0%	1			57	7	8	127		13	570	116	14
比率			0.1%			6.3%	0.8%	0.9%	13.9%		1.4%	62.4%	12.7%	1.5%

(注) 新生児～生後28日以内  
少年～満7歳以上18歳未満  
老人～満65歳以上

乳幼児～生後29日以上満7歳未満  
成人～満18歳以上満65歳未満

(7) 傷病程度別搬送人員状況

事故種別 年齢区分	計	比 率	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他
死亡(人)	27	3.0%									5	21	1	
重傷(人)	122	13.3%				5	1		11			64	30	11
中等傷(人)	358	39.2%				13	3	1	48		3	220	68	2
軽傷(人)	406	44.5%	1			39	3	7	68		5	265	17	1
その他(人)														
計	913	100.0%	1			57	7	8	127		13	570	116	14
比率			0.1%			6.3%	0.8%	0.9%	13.9%		1.4%	62.4%	12.7%	1.5%

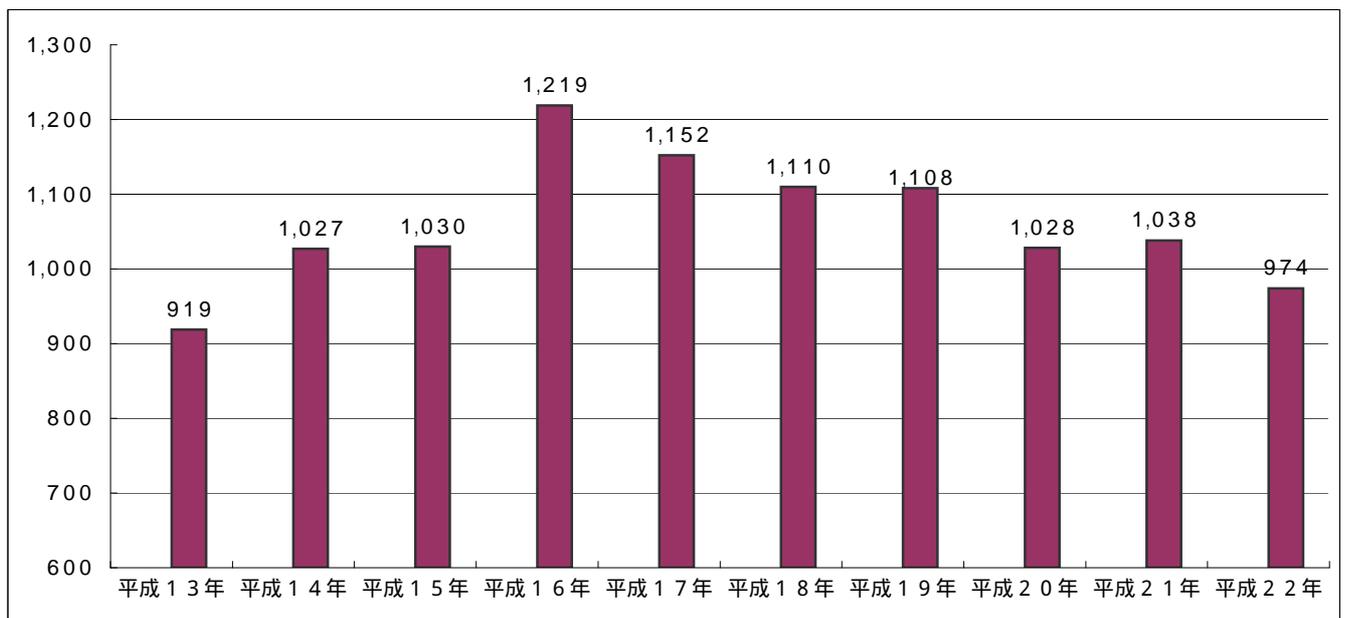
(注) 死亡～初診時において死亡確認  
中等傷～重傷又は軽傷以外のもの  
その他～傷病程度がないもの

重傷～3週間以上の入院加療をしたもの  
軽傷～入院加療無し

(8) 過去10年間の出勤状況

区分 年別	出 場 件 数	搬 送 件 数	不 搬 送 件 数	搬 送 人 員	事 故 種 別											
					火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他
平成13年	919	861	58	887	2			71	7	1	121	8	13	587	74	35
平成14年	1,027	951	76	994				106	10	2	124	7	16	654	72	36
平成15年	1,030	978	52	1,014				83	3	1	124	4	19	655	104	37
平成16年	1,219	1,155	64	1,191	2	2	3	79	6	6	143	8	21	757	147	45
平成17年	1,152	1,093	59	1,127	3		1	78	16	3	144	1	20	732	117	37
平成18年	1,110	1,044	66	1,070				91	8	8	145	3	13	665	143	34
平成19年	1,108	1,053	55	1,072	2		1	71	6	7	132	4	13	705	132	35
平成20年	1,028	946	82	961	1		1	63	6	4	131	4	12	597	160	49
平成21年	1,038	959	79	983	2		1	76	10	6	137	3	22	578	150	53
平成22年	974	907	67	913	3			56	7	8	129		18	586	116	51
合 計	10,605	9,947	658	10,212	15	2	7	774	79	46	1,330	42	167	6,516	1,215	412

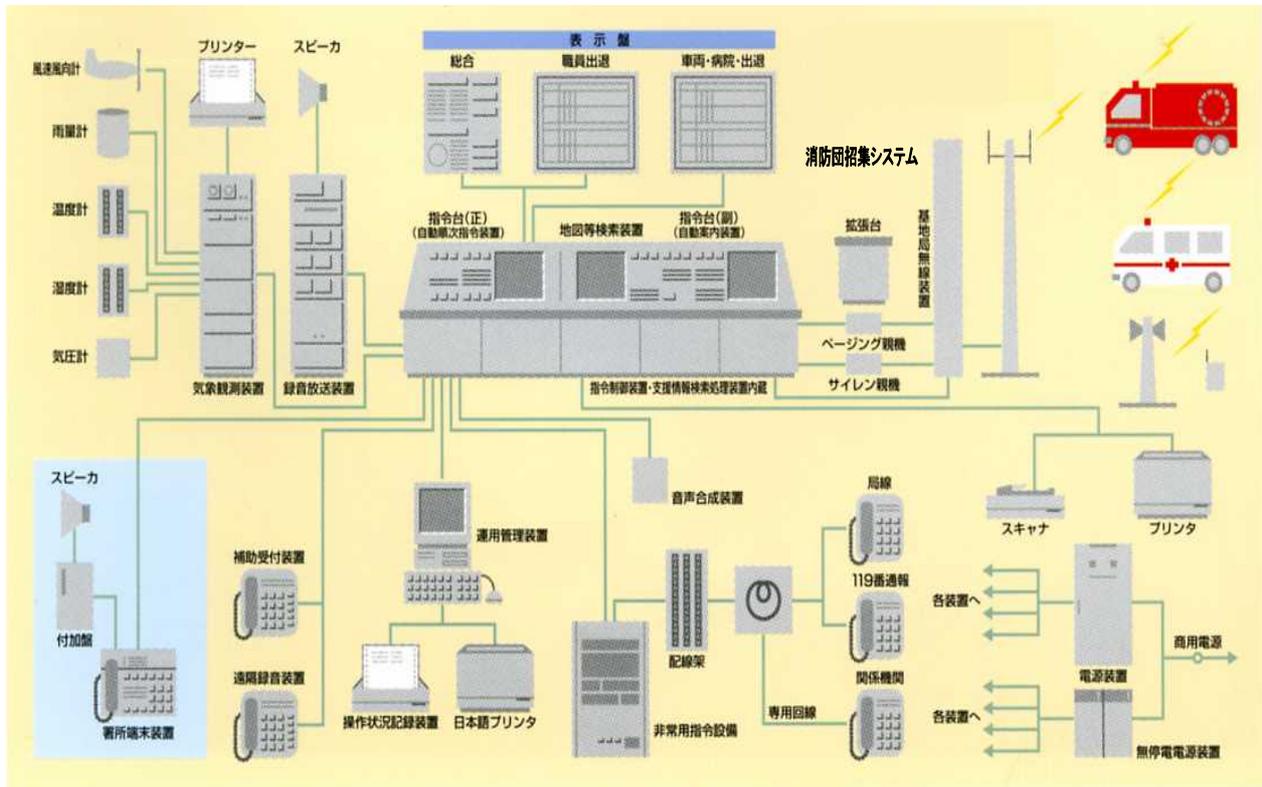
出勤件数推移表



## 2 消防通信施設

### (1) 消防緊急通信指令施設

#### ア システム構成図



#### イ 機器構成

1	指令装置	1	5	災害状況等自動案内装置	1			
	(1) 指令台							
	(2) 録音装置							
	(3) 非常用指令設備							
	(4) 指令制御装置							
	(5) 電源装置							
2	(6) 署所端末装置	2	8	音声合成装置	1			
	端末装置							
2	表示板	1	9	拡張台	1			
	(1) 職員出退表示板							
	(2) 車両・病院・出退表示板							
3	(3) 情報表示板	1	10	基地局無線機	3			
	支援情報用検索処理装置			(1) 無線装置				
				(2) コンソールディスプレイ		(2) 空中線設備		
				(3) 日本語プリンター		(3) 遠隔制御器		
	(4) 補助記憶装置			1		11	ページングシステム	60
	(5) 外部記憶装置						(1) 受令機選択呼出装置(親機)	
	(6) 日本語ディスプレイ						(2) 受令機(子機)	
(7) 無停電電源装置(CVCF)	(3) 充電器							
4	地図等検索装置	1	12	データ修正装置	1			
				13		サイレン吹鳴装置	7	
			(1) サイレン親制御器		1			
				(2) サイレン子制御器				
4	地図等検索装置	1	14	消防団招集システム	1			

(2) 消防無線の概要

種 別	配 置 別	呼 出 名 称	CH数	出力 (W)
基 地 局	超短波無線電話 美唄市消防本部	びばいしょうぼう	3	
陸 上 移 動 局	水 槽 車 (1号車)	びばい 1	3	10
	化 学 車 (3号車)	びばい 3	6	
	救 助 工 作 車 (4号車)	びばい 4	3	
	移 動 水 槽 車 (5号車)	びばい 5	3	
	は し ご 車 (6号車)	びばい 6	6	
	器 具 車	びばい 7	3	
	署 予 備	びばい 8	3	
	査 察 車	びばいささつ	3	
	指 揮 車	びばいしき	3	
	救 急 車 (No1)	びばいきゅうきゅう 1	6	
	救 急 車 (No2)	びばいきゅうきゅう 2	6	
	中 央 分 団 車 (2号車)	びばい 2	3	
	旭 分 団 車	あさひ 1	1	
	東 明 分 団 車	とうめい 1	1	
	南 美 唄 分 団 車	みなみびばい 1	1	
	光 珠 内 分 団 車	こうしゅない 1	1	
	峰 延 分 団 車	みねのぶ 1	2	
	西 美 唄 分 団 車	にしびばい 1	1	
	中 村 分 団 車	なかむら 1	1	
	茶 志 内 分 団 車	ちゃしない 1	1	
	非常災害用 (予備)	びばい 2 6	1	
	隊 長	びばい 2 1	3	
	消 防 署 予 備	びばい 2 2	6	
	予 防 課 携 帯	びばい 2 3	3	
	消 防 署 予 備	びばい 2 4	6	
	1 号 車 積 載	びばい 1 0 1	6	
	3 号 車 積 載	びばい 1 0 3	6	
	4 号 車 積 載	びばい 1 0 4	3	
5 号 車 積 載	びばい 1 0 5	6		
救 急 車 積 載 (No1)	びばい 1 0 6	3		
救 急 車 積 載 (No2)	びばい 1 0 7	3		
指 揮 車 積 載	びばい 1 0 8	3		
指 揮 車 積 載	びばい 1 0 9	6		
固 定 局 ( 団 員 指 令 ・ サイレン吹鳴 ・ ページング システム )	東 明 分 団	とうめいぶんだん	1	0.01
	南 美 唄 分 団	みなみびばいぶんだん	1	0.01
	光 珠 内 分 団	こうしゅないぶんだん	1	0.1
	峰 延 分 団	みねのぶぶんだん	1	1
	西 美 唄 分 団	にしびばいぶんだん	1	0.01
	中 村 分 団	なかむらぶんだん	1	0.1
	茶 志 内 分 団	ちゃしないぶんだん	1	0.01
特定小電力無線機	消 防 隊 員 用 (34台)		1	0.01

地方波 1 ~ 1 5 1 . 2 1 ・ 地方波 2 ~ 1 5 3 . 3 1 ・ 全国共通波 ~ 1 5 0 . 7 3

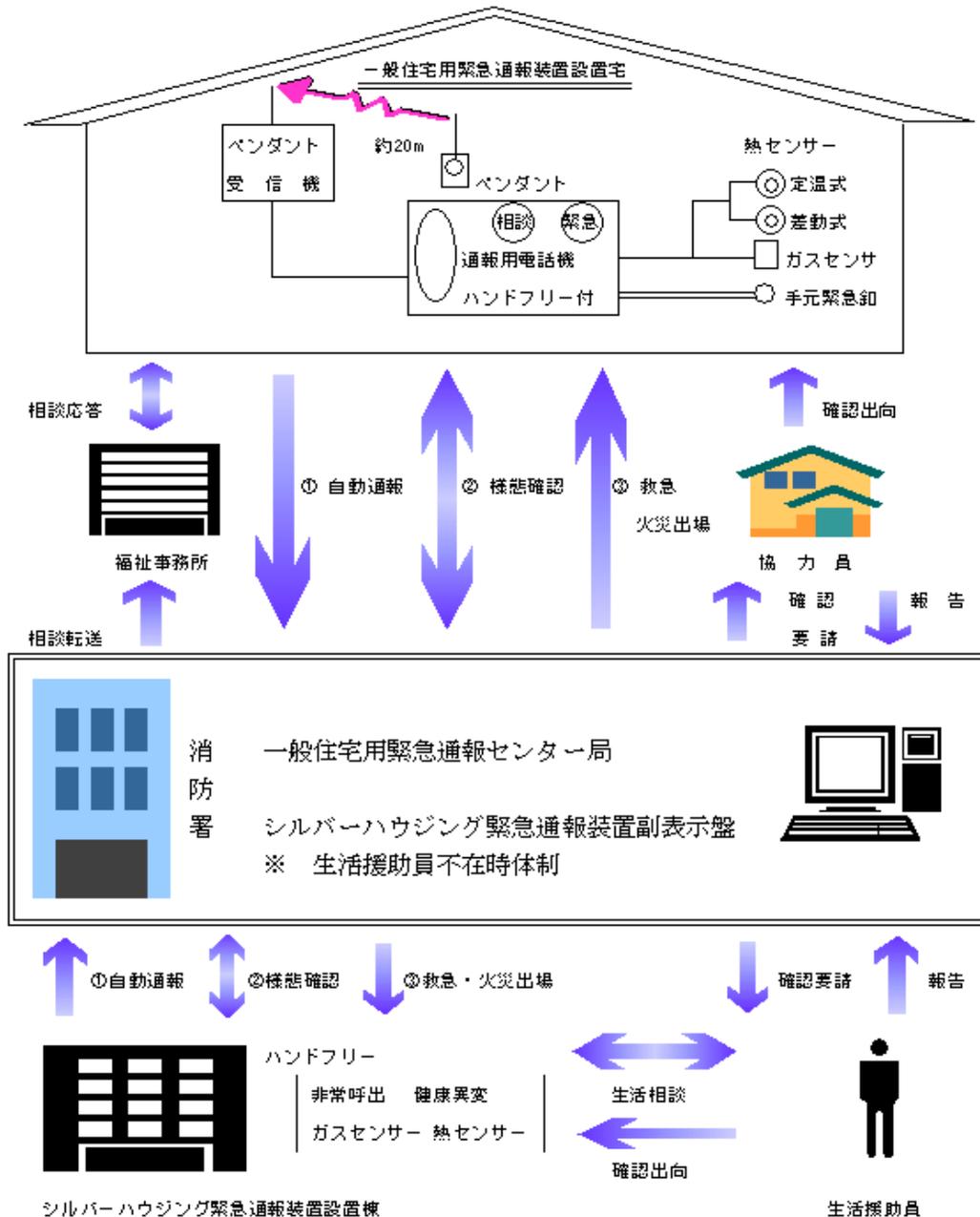
全国共通波 2 ~ 1 4 8 . 7 5 ・ 全国共通波 3 ~ 1 5 4 . 1 5 ・ 防災波 ~ 1 5 8 . 3 5

### 3 緊急通報装置

利用者宅の緊急通報用電話機等と消防署通信指令室を直接電話回線で結ぶことにより、災害、事故、急病、その他緊急時における救護活動の迅速化を図り、一人暮らしのお年寄りや身体の不自由な方等の生活不安を解消する。

一般住宅に設置

端末設置数 210台（機種 富士通電装） 平成22年12月31日現在



8階建シルバーハウジングに設置

端末設置数 60戸（機種 愛知時計電機） 平成22年12月31日現在

(1) 一般住宅用緊急通報装置受信状況

種別 \ 月別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
緊急 釦	51	3		2	2	5	4	5	7	4	4	7	8
手元緊急 釦	7	3						3	1				
ペンダント	34	1		3	1	4	5	7	2		4	4	3
火災センサー	1												1
ガスセンサー	67	1				9	16	13	13	12	2	1	
停電	157	24	8	3	4	3	2	42	26	16	2	19	8
相談 釦	27	3	3	4	3	4	1	3	3	2		1	
合計	344	35	11	12	10	25	28	73	52	34	12	32	20

(2) シルバーハウジング緊急通報装置受信状況

種別 \ 月別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
非常呼出	9	2		1	1		1			1		1	2
健康異変	10	1	3			1		1			1		3
ガス漏れ	11		1		1			2	5			1	1
火災	0												
共用火災	0												
合計	30	3	4	1	2	1	1	3	5	1	1	2	6

(3) 緊急通報装置受信内容状況 (シルバーハウジングを含む)

種別 \ 月別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
救急車出場	31	3	1	1	1	3	3	4	2	1	4	2	6
消防車出場	36	1	5	3	1	1	3	8	2	2	4	1	5
電話対応	293	32	7	7	10	22	22	62	49	32	5	30	15
協力員依頼	4		1						3				
福祉へ転送	10	2	1	2			1	2	1			1	
その他													
合計	374	38	15	13	12	26	29	76	57	35	13	34	26

(4) 地区別設置状況 (シルバーハウジング含む)

区分 \ 地区別	合計	母町・東北	母町・東南	母町・西北	母町・西南	葵巳	沼の内	東明	我路	南美唄	進徳	光珠内	峰延	西美唄	中村	茶志内	日東
独居	235	23	68	26	16			18		32	4	8	14		3	15	8
家族と同居	27	1	15	4				2		2			1			2	
65歳未満	7	2						5									
シルバーハウジング未入居	1		1														
計	270	26	84	30	16	0	0	25	0	34	4	8	15	0	3	17	8
(内)身体障がい者世帯	41	6	5	2	4			14		5		2	1			2	
(内)ペースメーカー使用者	2	1	1														

# 4 気象記録

(消防署調べ 参考データ)

月別 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均又は計
		温度	最高	5.6	11.0	9.2	14.0	24.0	32.2	30.5	32.5	31.0	21.8	16.5
最低	-18.6		-21.1	-11.8	-5.5	1.3	6.3	12.6	15.0	4.7	-3.3	-4.2	-14.0	
平均	-3.9		-5.3	-1.4	4.5	11.6	18.7	22.0	23.9	18.5	10.9	4.4	-0.8	8.6
湿度 %	最低	44.0	41.3	35.0	21.3	20.5	32.7	53.6	38.3	32.2	30.4	42.7	40.1	
	平均	78.7	76.7	72.2	68.5	72.0	79.4	81.8	76.5	69.1	75.6	78.2	76.2	75.4
風速 m/s	最大	15.0	14.9	22.2	20.5	14.8	10.8	13.5	14.1	18.8	15.1	17.9	23.3	
	平均	2.1	1.6	2.1	2.3	2.1	1.7	1.9	1.7	1.7	1.5	1.8	2.1	1.9
	主な風向	W	W	W	W	SW	SW	SW	SW	W	WNW	SW	SW	
降雨日数					16	9	9	17	15	11	14	18		109
雨量 (mm)					89.5	104.5	81.0	215.0	270.0	125.5	103.5	82.0		1071.0
降雪日数		24	19	17	4							3	13	80
降雪量 (cm)		258	149	69	8							13	75	572
積雪量 cm	最高	85	100	63	29							2	20	
	最低	39	54	35	1							0	0	
備考		平成21年1月2日から平成22年4月15日までの降雪量 699cm 冬期間降水計停止												

# 予 防



進徳保育園幼年消防クラブ

# 1 予 防 統 計

## (1) 指定防火対象物状況

政令別表 第1の区分		区 分	法第17条	火災予防	法第8条	防火管理者	消 防 計 画
			第1項指定 防火対象物	条 例 指 定 防火対象物	第1項該当 防火対象物	選 任 防火対象物	届 出 防火対象物
1	イ 劇場、映画館		3		3	3	3
	ロ 公会堂、集会場		25		25	24	24
2	イ キャバレー、カフェ		0		0	0	0
	ロ 遊技場、ダンスホール		4		4	4	4
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗		0		0	0	0
	ニ カラオケボックスその他		1		1	1	1
3	イ 待合、料理店その他		0		0	0	0
	ロ 飲食店		27	2	24	21	21
4	百貨店、マーケットその他		42		23	22	22
5	イ 旅館、ホテル又は宿泊所		7		6	6	6
	ロ 寄宿舍、下宿、共同住宅		234	4	21	18	18
6	イ 病院、診療所、助産所		15		9	9	9
	ロ 老人短期入所施設、養護老人ホーム、介護老人保健施設等		17		17	17	17
	ハ 老人デイサービスセンター、老人福祉センター、保育所等		48		14	14	14
	ニ 幼稚園、特別支援学校		6		6	6	6
7	小・中・高・大学校、各種学校		39		35	35	35
8	図書館、博物館、美術館		4		4	4	4
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場 その他		0		0	0	0
	ロ 公衆浴場		2		1	1	1
10	車両の停車場		0		0	0	0
11	神社、寺院、教会		50		39	33	33
12	イ 工場、作業所		171	9	26	25	25
13	イ 自動車車庫、駐車場		27	1	4	4	4
	ロ 飛行機又は回転翼飛行機の格納庫		2		0	0	0
14	倉庫		182		3	3	3
15	前各号に該当しない事業所		76		25	23	23
16	イ 特定防火対象物の用途が存する複合用途防火対象物		57	3	36	32	32
	ロ イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物		22	3	4	3	3
17	文化財		2		1	1	1
計			1,063	22	331	309	309

(2) 建築同意処理状況

ア 工事別同意状況

工事別	月 別												
	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
新 築	7		2		1	1		2			1		
増 築	6	1	1						2	1		1	
改 築	0												
そ の 他	1				1								
合 計	14	1	3	0	2	1	0	2	2	1	1	1	0

イ 用途別同意状況

用途別	月 別												
	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
専 用 住 宅	1										1		
集 会 場	0												
飲 食 店	2							2					
店 舗	1											1	
旅 館	0												
共 同 住 宅	1		1										
診 療 所	1					1							
特別養護老人ホーム	0												
知的障害者厚生施設	2	1							1				
博物館その他これら に類するもの	0												
寺 院	0												
工 場	2		1								1		
倉 庫	0												
事 務 所	1		1										
車 庫	0												
複 合 用 途	0												
そ の 他	3				2				1				
合 計	14	1	3	0	2	1	0	2	2	1	1	1	0

(3) 中高層建築物の状況(4階以上)

用途別		階 別	計	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階
3項口	飲 食 店 等		1		1			
5項イ	旅 館 ・ ホ テ ル 等		0					
5項口	共 同 住 宅 等		27	12	9	3	1	2
6項イ	病 院 等		5	2	2	1		
7項	学 校 等		6	5	1			
15項	事 業 所 等		2	2				
16項イ	複 合 用 途		4	1	3			
計			45	22	16	4	1	2

(4) 広報・広聴実施状況

広 報 区 分		回 数
巡 回 広 報	火災予防運動中	58
	歳末特別警戒	27
	一般広報・その他	288
放 送 関 係	有線放送等	0
	新聞・広報紙等	13
そ の 他	防火相談等	6
	街頭宣伝等	2
計		394
美唄市公式webサイトにて「消防からの情報」を掲示		

(5) 予防活動状況

種 別	実 施 回 数	人 数
防 火 講 演	4	90
防 火 映 画	9	295
消 火 器 取 扱 指 導	30	1,822
避 難 訓 練	137	7,452

(6) 消防法・火災予防条例届出等の処理状況

消 防 法 関 係	件 数	火 災 予 防 条 例 関 係	件 数
防 火 管 理 者 選 ・ 解 任 届 出	56	使 用 開 始 届 出	22
消 防 計 画	61	ボ イ ラ ー 等 設 置 届 出	1
消 防 用 設 備 等 着 工 届 出	24	発 電 ・ 変 電 等 設 置 届 出	1
消 防 用 設 備 等 設 置 届 出	31	煙 火 打 上 げ 届 出	20
消 防 用 設 備 点 検 報 告	299	揚 煙 等 行 為 届 出	21
防 火 対 象 物 定 期 点 検 報 告	26	少 量 危 険 物 貯 蔵 等 届 出	34
液 化 石 油 ガ ス 等 届 出	1	指 定 可 燃 物 貯 蔵 等 届 出	2
そ の 他 届 出	0	そ の 他 届 出	23
計	498	計	124

(7) 防火団体設立状況

ア 危険物安全協会

団 体 名	設 立 年 月 日	会 員 数
美 唄 市 危 険 物 安 全 協 会	昭 和 4 0 年 7 月 1 1 日	61

イ 幼年消防クラブ

団 体 名	設 立 年 月 日	ク ラ ブ 員 数
西 美 唄 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	平 成 3 年 6 月 2 8 日	12
茶 志 内 双 葉 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	平 成 4 年 6 月 8 日	30
進 徳 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	平 成 4 年 6 月 1 0 日	46
峰 延 保 育 所 幼 年 消 防 ク ラ ブ	平 成 4 年 7 月 1 日	24

ウ 婦人防火クラブ

団 体 名	設 立 年 月 日	ク ラ ブ 員 数
中 村 婦 人 防 火 ク ラ ブ	昭 和 5 7 年 1 月 2 5 日	16

## 2 危険物統計

### (1) 危険物施設状況

製造所等の区分		地域別											
		計	母町	東明町	北美唄・沼の内町	南美唄町	進徳町	光珠内町	峰延町	開発・上美唄町	西美唄町	中村町	葵巳・茶志内・日東町
製造所		3	1					2					
貯蔵所	屋内	16	9			1		5	1				
	屋外タンク	27	8	1	1	4		3	1	2	1		6
	屋内タンク	6	2					1					3
	地下タンク	74	41	3	1	2	5	5	6	2	2	2	5
	簡易タンク	0											
	移動タンク	69	22	2		6	3		20		5		11
	屋外	10	7					2					1
	小計	202	89	6	2	13	8	16	27	5	8	2	26
取扱所	給油	営業用	10	6				2	1		1		
		自家用	12	3	1		2	2	1				3
	販売	0											
	一般	47	19	2		4	4	11	1	2	1	1	2
	小計	69	28	3	0	6	8	11	3	2	2	1	5
合計		274	118	9	2	19	16	29	30	7	10	3	31

(2) 危険物申請等処理状況

区 別 申請等種別	計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所		
			屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	一 般	販 売
設 置 許 可 申 請	3	1							2			
変 更 許 可 申 請	3					1			2			
完 成 検 査 前 検 査 申 請	1	1										
完 成 検 査 申 請	6	1				1			4			
仮 使 用 承 認 申 請	0											
仮 貯 蔵 取 扱 承 認 申 請	0											
譲 渡 引 渡 届	4					3					1	
廃 止 届	5				1	1			2		1	
品 名 ・ 数 量 変 更 届	5		1			1			2		1	
保 安 監 督 者 選 解 任 届	9	1	2	3						1	2	
変 更 届	10			1		1			3	3	2	
変 更 通 知	3								3			
そ の 他 の 届	27		2	3		7			5	3	7	
合 計	76	4	5	7	1	15	0	23	0	7	14	0

(3) 危険物製造所等倍数別設置状況

施設別		倍数別		施設数	5倍以下	5倍を超え 10倍以下	10倍を超え 50倍以下	50倍を超え 100倍以下	100倍を超え 150倍以下	150倍を超え 200倍以下	200倍を超え 千倍以下	千倍を超えるもの
		施設数	施設数									
製造所				3		2					1	
貯蔵所	屋内			16	8	2	1	2	1	1	1	
	屋外タンク			27	5	4	12	5			1	
	屋内タンク			6	1	5						
	地下タンク			74	50	11	11	2				
	簡易タンク			0								
	移動タンク			69	43	6	2	18				
	屋外			10		8	1	1				
	小計			202	107	36	27	28	1	1	2	
取扱所	給油	営業用			10		1	3	1	2	3	
		自家用			12	3	2	7				
	販売			0								
	一般			47	23	13	8	2			1	
	小計			69	26	15	16	5	1	2	4	
合計				274	133	53	43	33	2	3	7	

### 3 火災概要

#### (1) 火災発生状況

= 減少

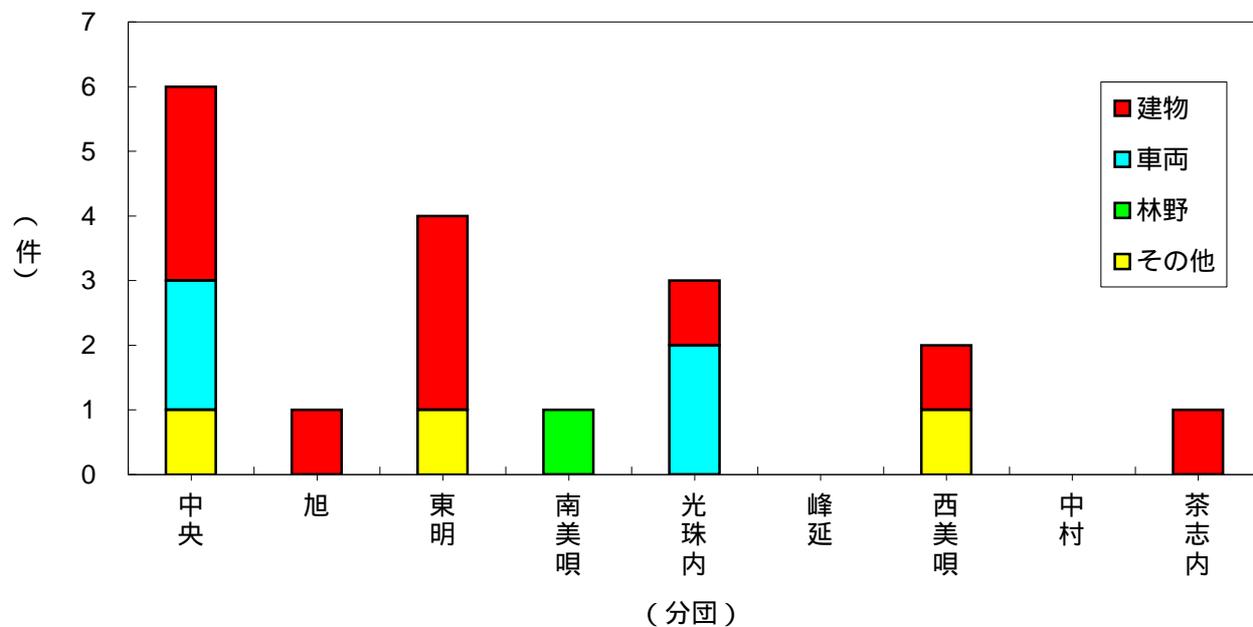
区 分		平成22年	平成21年	比 較
火 災 件 数		18	22	4
種 別	建 物	10	16	6
	林 野	1	0	1
	車 両	4	2	2
	そ の 他	3	4	1
損 害 (千 円)		20,886	6,936	13,950
種 別	建 物	20,076	6,070	14,006
	林 野	0	0	0
	車 両	810	866	56
	そ の 他	0	0	0
焼 損 面 積	建 物 (m <sup>2</sup> )			
	床 面 積	315	226	89
	表 面 積	1	1	0
焼 損 棟 数		10	17	7
り 災 世 帯 数		2	13	11
林 野 (a)		181	0	181
死 者		3	1	2
負 傷 者		1	0	1
出 火 率		6.8%	8.2%	1.4%

出火率 = 人口1万人当りの出火件数

(2) 管轄別火災発生状況

火災 管轄	合 計		建 物		林 野		車 両		そ の 他	
	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)
合 計	18	20,886	10	20,076	1		4	810	3	
中 央	6	1,150	3	1,119			2	31	1	
旭	1	1,459	1	1,459						
東 明	4	1,028	3	1,028					1	
南 美 唄	1				1					
光 珠 内	3	13,332	1	12,553			2	779		
峰 延	0									
西 美 唄	2	1,448	1	1,448					1	
中 村	0									
茶 志 内	1	2,469	1	2,469						

管轄別グラフ



(3) 月別火災状況

区分 月別	火災件数								焼 損 棟 数	り災		死傷者		焼損面積		損 害 額 (千円)
	計	建 物				林 野	車 両	そ の 他		世 帯 数	人 員	死 者	負 傷 者	建 物 (m <sup>2</sup> )	林 野 (a)	
		全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や									床面積 表面積		
1 月	0															
2 月	1							1			1					
3 月	2			1	1						1		27.90		612	
4 月	2		1		1				1	1			28.15 0.96		1,408	
5 月	2							2								
6 月	1					1								181		
7 月	0															
8 月	2	1						1				1	9.52		396	
9 月	3			2				1					58.50		14,032	
10 月	1		1										107.25		2,469	
11 月	4	1			1			2	1	2	1		83.50		1,969	
12 月	0															
計	18	2	2	3	3	1	4	3	10	2	3	3	1	314.82 0.96	181	20,886

(4) 出火原因別火災状況

区分 原因別	火災件数								焼 損 棟 数	り災		死傷者		焼損面積		損 害 額 (千円)
	計	建 物				林 野	車 両	そ の 他		世 帯 数	人 員	死 者	負 傷 者	建 物 (m <sup>2</sup> )	林 野 (a)	
		全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や									床面積 表面積		
たばこ	2		1					1	1	1			28.15		552	
ごみ焼き等	0															
こんろ	0															
火あそび	0															
ストーブ・風呂釜	1		1										107.25		2,469	
溶接機・溶断機	1				1								0.88		21	
煙突・煙道	1			1							1		27.90		66	
電気関係	3	1			1		1		2	1	2	1	82.62		2,036	
放火・疑放火	2			1				1				1	58.50		12,553	
不明	2					1		1						181		
その他	6	1		1	1		2	1	3			1	9.52 0.96		3,189	
調査中	0															
計	18	2	2	3	3	1	4	3	10	2	3	3	1	314.82 0.96	181	20,886

(5) 出火時刻別火災状況

区分 出火時刻	火災件数								焼損棟数	り災		死傷者		焼損面積		損害額 (千円)
	計	建物				林野	車両	その他		世帯数	人員	死者	負傷者	建物 (m <sup>2</sup> )	林野 (a)	
		全焼	半焼	部分焼	ぼや									床面積 表面積		
0～1	0															
1～2	1		1						1	1	1		28.15		552	
2～3	0															
3～4	0															
4～5	0															
5～6	0															
6～7	1						1								489	
7～8	0															
8～9	1			1					1						1,448	
9～10	0															
10～11	1				1				1				0.96		856	
11～12	0															
12～13	0															
13～14	1						1									
14～15	0															
15～16	4			1	1	1		1	2		1		27.90	181	612	
16～17	2				1		1		2				59.38		12,864	
17～18	1	1							1			1	9.52		106	
18～19	1			1												
19～20	0															
20～21	1	1							1	1	2	1	82.62		1,459	
21～22	2						1	1							31	
22～23	1		1						1				107.25		2,469	
23～24	0															
出火時刻不明	1							1			1					
計	18	2	2	3	3	1	4	3	10	2	3	3	1	314.82 0.96	181	20,886

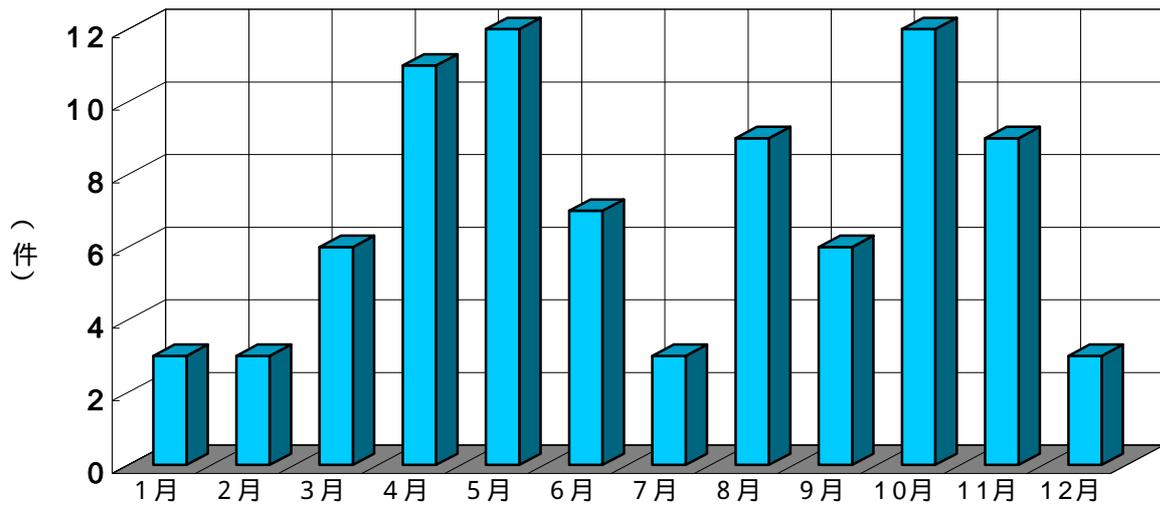
(6) 過去5年間の火災状況

区分 / 単位 / 年別			平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
出火件数	計		14	15	19	22	18
	件	建物	6	9	10	16	10
		野	0	1	0	0	1
		両	4	1	2	2	4
		その他	4	4	7	4	3
焼損棟数	棟	6	10	10	17	10	
焼損面積	建物	床面積	323	3,110	573	226	315
		表面積	2	8	13	1	1
	林野	a	0	483	0	0	181
死者	人	1	2	1	1	3	
負傷者		0	3	0	0	1	
り災世帯	世帯	3	4	7	13	2	
り災人員	人	6	15	10	99	3	
損害額	千円	7,446	168,177	4,170	6,936	20,886	
1件当り焼損面積(建物)	m <sup>2</sup>	54	346	57	14	32	
1件当り損害額	千円	533	11,212	219	315	1,160	
市民1人当り損害額	円	260	6,006	153	259	794	
1世帯当り損害額		564	12,908	324	543	1,635	

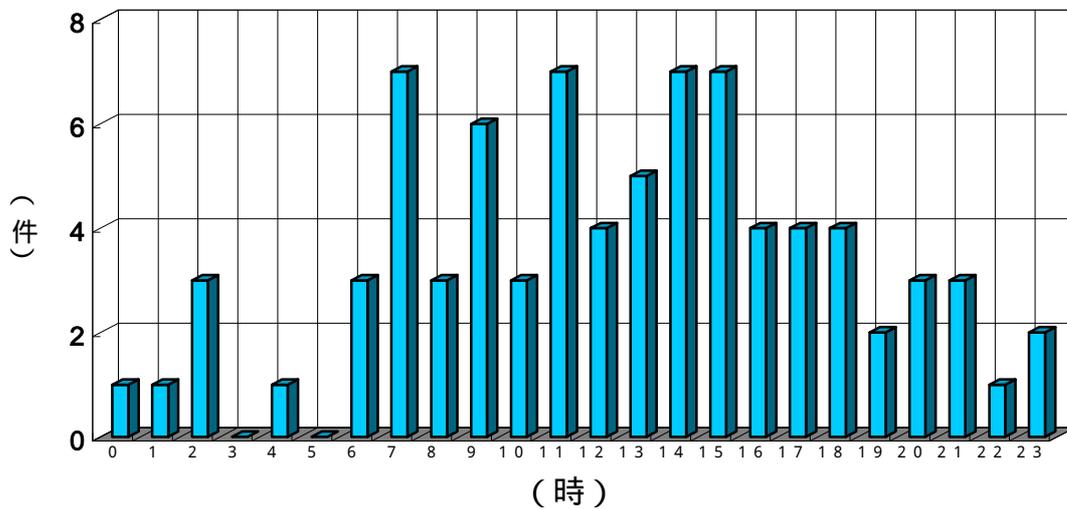
(7) 過去5年間の火災原因別分類

原因別 \ 年別	計 (件)	平成18年 (件)	平成19年 (件)	平成20年 (件)	平成21年 (件)	平成22年 (件)
たばこ	12	0	3	4	3	2
ごみ焼き等	10	1	2	4	3	0
ライター・マッチ	1	1	0	0	0	0
火あそび	3	0	1	2	0	0
ストーブ・風呂釜	1	0	0	0	0	1
溶接機・溶断機	3	0	2	0	0	1
煙突・煙道	1	0	0	0	0	1
電気関係	14	4	1	2	4	3
放火・疑放火	8	2	0	0	4	2
不明	6	0	2	1	1	2
その他	29	6	4	6	7	6
調査中	0	0	0	0	0	0
計	88	14	15	19	22	18

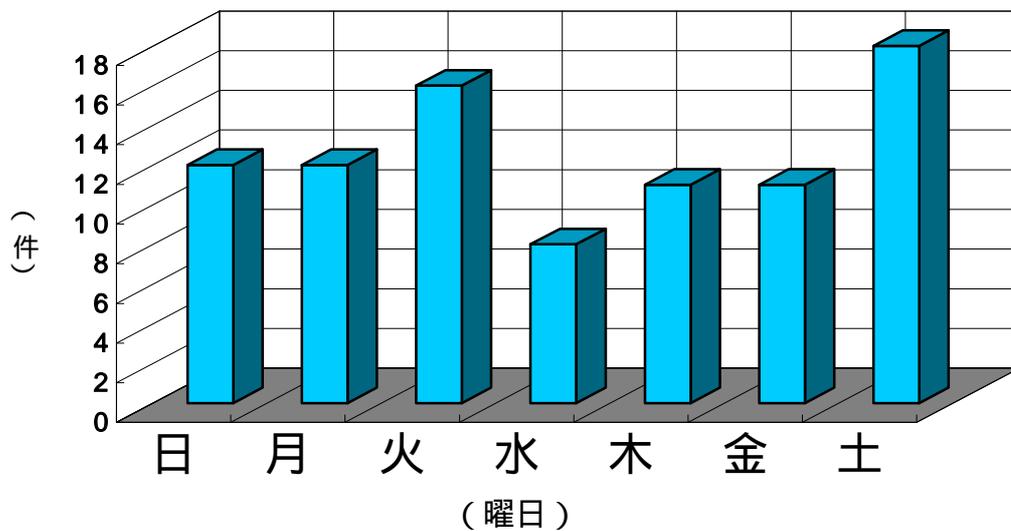
(8) 過去5年間の月別発生状況



(9) 過去5年間の時刻別発生状況



(10) 過去5年間の曜日別発生状況



(11) 消防本部発足以来の火災件数の経過(昭和25年~51年)

区分 年別	火災件数						焼損棟数	り災世帯	焼損面積		損害額 (千円)	建 物 1件当り 焼損面積 (㎡)	1件当り 損害額 (千円)	死傷者	
	計	建 物				建物以外			建物(㎡)	床面積				死者	負傷者
		全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や										
昭和25	35	14		19		2	39	64	2,317	11,963	70	342			
26	40	12		28			47	57	5,507	46,839	138	1,171		1	
27	43	13		24		6	52	49	1,909	13,747	52	320		2	
28	42	20		19		3	61	83	4,169	36,166	107	861	3	3	
29	27	14		10		3	34	48	3,767	115,553	157	4,280		9	
30	28	9	3	14		2	26	20	2,304	13,701	89	489		13	
31	32	14	2	12		4	48	38	4,190	51,468	150	1,608	3	12	
32	28	9	1	18			35	36	1,784	19,253	64	688			
33	35	15	3	14		3	55	68	4,289	28,844	134	824			
34	22	11	3	5		3	24	22	1,806	15,412	95	701		8	
35	34	16	5	12		1	44	29	4,041	43,061	122	1,267		13	
36	27	18	2	4		3	35	18	2,126	16,164	89	599		3	
37	27	18	2	7			37	27	2,849	16,867	106	625		6	
38	30	12	6	8		4	39	23	4,400	17,768	169	592	1	8	
39	35	16	4	11		4	36	26	4,905	29,180	158	834	4	8	
40	29	14	5	7		3	41	31	3,705	21,890	143	755		7	
41	28	15	5	7		1	28	12	1,936	12,158	72	434	2	3	
42	20	9	5	5		1	22	15	1,861	11,623	98	581	2	6	
43	25	17	4	3		1	32	23	3,186	15,380	133	615			
44	25	16	2	7			28	12	2,196	15,711	88	628	2	3	
45	26	13	5	6		2	29	35	2,193	27,316	91	1,051	2	10	
46	22	9	5	8			27	24	2,175	22,316	99	1,014	10	5	
47	15	7	3	4		1	14	22	4,373	9,386	312	626		2	
48	27	15	5	4		3	30	32	2,201	30,694	92	1,137	3		
49	16	8		7		1	36	26	7,745	124,495	516	7,781	1	1	
50	13	9		4			14	9	1,452	25,197	112	1,938		2	
51	14	8	4	1		1	15	9	4,466	136,711	344	9,765	2	2	

(昭和52年～平成16年)

区分 年別	火災件数						焼 損 棟 数	以 災 世 帯	焼損面積			損 害 額  (千円)	建 物  1件当り 焼損面積 (㎡)	1件当り 損害額 (千円)	死傷者	
	計	建 物				建 物 以 外			建 物 (㎡)	床 面 積	表 面 積				死 者	負 傷 者
		全 焼	半 焼	部 分 焼	ほ や											
昭和52	17	8	1	6		2	17	20	1,756	30,199	117	1,776	2	4		
53	10	4	2	4			10	8	1,977	39,493	198	3,949		3		
54	17	10		7			18	26	2,109	53,257	124	3,133	3	8		
55	13	7	5	1			14	13	1,387	36,912	107	2,839		6		
56	10	2	2	4		2	9	3	1,111	45,271	139	4,527	1	3		
57	12	9	1	2			17	16	3,222	115,357	269	9,613	1	3		
58	18	12	3	3			20	16	2,237	89,222	124	4,957	6	6		
59	9	8	1				9	13	864	21,687	96	2,410	1	1		
60	15	10	3	2			14	13	1,559	54,285	104	3,619	6	3		
61	12	7	2	3			15	9	1,194	68,796	100	5,733	1	2		
62	11	6	2	2		1	10	6	730	33,782	73	3,071	1	1		
63	17	4	1	7		5	14	9	631	15,334	53	902	1	3		
平成元	19	9	1	8		1	19	12	1,622	58,420	90	3,075	1	3		
2	10	5		3		2	8	7	818	28,582	102	2,858		1		
3	21	8	2	6		5	19	10	1,208	51,979	76	2,475	2	4		
4	12	4	2	4		2	10	8	536	25,366	54	2,114		1		
5	19	2	2	3		12	10	9	290	16,886	41	889	2	7		
6	8	1				7	1		50	2,564	50	321		1		
7	13	5	3	2		3	10	4	452 10	27,424	45	2,110		1		
8	12	4	2	2	2	2	11	8	1,325 66	52,833	133	4,403		2		
9	19	3	4	2	2	8	11	9	248 57	11,189	23	589		2		
10	18	3	1	2	4	8	10	7	709 4	33,616	71	1,868		1		
11	9	3	2	1	1	2	7	3	599 0	20,372	86	2,264	1			
12	16		2	7	3	4	12	5	72 10	5,009	6	313		3		
13	21	4	2		1	14	9	5	410 8	22,253	59	1,059		3		
14	15	1	1	1	4	8	8	4	238 4	9,341	34	623		1		
15	10	3	3	1	1	2	8	7	907 0	18,687	113	1,869	1	1		
16	18	5	1	1	4	7	14	9	831 31	24,147	76	1,342	1	2		



## (12) 昭和45年以降の主な火災

年月日	区分 出火場所・用途	原因	損害 金額 (千円)	焼損 面積 (㎡)	焼損棟数			死 者	負 傷 者
					全 焼	半 焼	部 分 焼		
昭和 45.7.4	南美唄町 (住宅)	たばこ (不始末)	3,653	358	4	1			
46.1.31	母町 (店舗・寄宿舎)	不明	3,016	59		1	10	1	
49.4.21	我路町 (住宅)	煙筒(飛び火)	10,032	1,215	17	1	1	1	
49.10.3	南美唄町 (学校)	不明	95,000	5,089	2				
52.10.17	茶志内町 (学校)	不明	4,830	943	1				
53.6.3	母町 (学校)	不明	23,661	1,411		1		2	
54.3.23	沼ノ内町 (住宅)	不明	5,930	129	1		3	2	
56.2.20	茶志内町 (家具店舗)	煙筒(過熱)	23,749	881	1				
57.3.8	母町 (家具店舗)	不明	72,646	1,728	2		1		
58.6.7	母町 (医院併用住宅)	こんろ (消し忘れ)	30,758	303	1				
58.12.8	西美唄町 (住宅)	プロパン爆発	8,093	109	1		5	2	
60.2.2	西美唄町 (住宅)	ストーブ (床過熱)	3,809	137	1		5		
60.4.23	母町 (飲食店)	たばこ (不始末)	12,698	528	1				
61.6.2	母町 (店舗併用住宅)	不明	37,416	337	1				
平成 元.12.6	峰延町 (飲食店併用住宅)	不明	27,763	546	2				
2.12.31	母町 (飲食店併用住宅)	たばこ (不始末)	6,125	427	1			1	
3.5.18	我路町 (住宅)	石炭ストーブ (輻射熱)	6,643	455	3		1		
4.7.8	母町 (店舗併用住宅)	ベビーサンダ ーの火花	16,237	247		1			
8.5.8	東明町 (牛舎)	薪ストーブ (輻射熱)	28,694	897	1				
19.10.27	母町 (空ビル)	ガス切断機 (伝導過熱)	149,217	2,601	2		2		

平成22年度

「全国統一防火標語」

「消したかな」

あなたを守る

合言葉

